

# 千鳥団地市営住宅（No. 4号棟） 長寿命化改修工事

## 設 計 図

図面番号	図 面 名 称
A-01	改修特記仕様書（その1）
A-02	改修特記仕様書（その2）
A-03	改修特記仕様書（その3）
A-04	改修特記仕様書（その4）
A-05	改修特記仕様書（その5）
A-06	改修特記仕様書（その6）
A-07	改修特記仕様書（その7）
A-08	改修特記仕様書（その8）
A-09	改修特記仕様書（その9）
A-10	改修特記仕様書（その10）
A-11	改修特記仕様書（その11）
A-12	改修特記仕様書（その12）
A-13	案内図・配置図
A-14	改修工事仕上表
A-15	1階平面図（現況）
A-16	1階平面図（改修）
A-17	2階平面図（現況）
A-18	2階平面図（改修）

図面番号	図 面 名 称
A-19	3階平面図（現況）
A-20	3階平面図（改修）
A-21	屋上階平面図（現況）
A-22	屋上階平面図（改修）
A-23	立面図1（現況）
A-24	立面図1（改修）
A-25	立面図2（現況）
A-23	立面図2（改修）
A-24	断面図
A-25	天井伏図
A-23	矩計図・デザイン壁断面図・塔屋詳細図・トップライト詳細図（現況）
A-24	矩計図・デザイン壁断面図・塔屋詳細図・トップライト詳細図（改修）
A-25	部分詳細図（改修）

図面番号	図 面 名 称
E-01	電気設備 特記仕様書
E-02	電気設備 特記仕様書（補足）
E-03	工事区分表
E-04	1階 電気設備平面図（改修前）
E-05	2階 電気設備平面図（改修前）
E-06	3階 電気設備平面図（改修前）
E-07	屋上階 電気設備平面図（改修前）
E-08	照明器具参考姿図・集合計器盤 単線結線図
E-09	1階 電気設備平面図（改修後）
E-10	2階 電気設備平面図（改修後）
E-11	3階 電気設備平面図（改修後）
E-12	屋上階 電気設備平面図（改修後）
E-13	構内配電設備・構内通信設備 改修立面図
E-14	外灯設備 改修平面図

M-01	機械設備改修工事特記仕様書（1）
M-02	機械設備改修工事特記仕様書（2）
M-03	機械設備 1階平面図
M-04	機械設備 立面図

[illegible]

TITLE	DRAWING	SCALE	AMENDMENTS								CHECK	設計者	NO.
千鳥団地市営住宅(No.4号棟)長寿命化改修工事	改修特記仕様書（その１）		処理日										A-01
			担当者										
			確定日										



2

仮設工事

・騒音・粉じん等の対策

○足場等

・防音パネル  
・防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲  
・ 図示による

外部足場  
○設置する  
（設置範囲  
○工事に必要な範囲  
・ 図示による  
・ 設置しない

防護シート  
○設置する  
（設置範囲  
○工事に必要な範囲  
・ 図示による  
・ 設置しない

内部足場  
○設置する  
（※脚立、足場板等  
・  
・設置しない

○材料、撤去材等の運搬方法  
種別（・A種  
・B種  
・C種  
・D種  
○E種）  
C種：利用可能なエレベーター  
（・ 図示による  
・  
）  
D種：利用可能な階段  
（・ 図示による  
・  
）

○既存部分の養生

養生方法等

○既存部分  
養生方法（※ビニルシート、合板  
・  
）  
・既存家具、既存設備等  
養生方法（※ビニルシート等  
・  
）  
・既存ブラインド、カーテン等  
養生方法（・ビニルシート等  
・  
保管場所（・ 図示による  
・  
）  
・固定された備品、机、ロッカー等の移動  
・ 図示による  
・  
）

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所  
・ 図示による

仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上り（厚さmm）	塗装	充填材
・A種	・せっこうボード 種類（・ 厚さ（・ mm ※9.5mm） ・合板 材種（・ 厚さ（・ mm ※9mm） ・	・無し ・片面 ・	グラスウール 厚さ mm
・B種			
※C種	防煙シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上り	塗装	設置箇所
※木製 ・	※合板張り程度 ・	・無し ・片面	・ かし所 ・ 図示による

3

防水改修工事

○施工数量調査

調査範囲  
・ 図示による  
○防水改修範囲

調査方法  
・ 図示による  
○目視及び打診によりひび割れ、浮き、欠損  
既存部分の破壊を行った場合の補修方法  
・ 図示による  
・  
調査報告書（提出部数  
○1部  
・  
）

○降雨等に対する養生方法（とい共）

○既存防水の処理

既存保護層の撤去  
・ 行う（範囲  
・ 図示による  
・  
）  
・ 行わない

既存防水層の撤去  
○ 行う（範囲  
○ 図示による  
・  
）  
・ 行わない

既存露出防水層表面の仕上り塗装の除去  
・ 行う（・ M4AS  
・ M4ASI  
・ M4C  
・ M4DI  
・ L4X  
）  
・ 行わない

○既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等  
○ 図示による  
・  
POS工法及びPOSⅡ工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理  
※改修標準仕様書3.2.6(4) (ウ) (g) ①～③による  
・  
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理  
※監督職員と協議する  
・ 図示による

・アスファルト防水

○新設防水層（屋根露出工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上り塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2					・適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		改修標準仕様書3.2.2(9) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・			・適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書 表3.3.7～表3.3.9による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
・  
材料による区分  
※R種  
厚さ（ ）mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書 表3.3.8及び表3.3.9による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
・  
材料による区分  
※R種  
厚さ（ ）mm以上

絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置  
※図示による  
・  
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類  
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
・  
設置数量  
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
・  
（個）

屋内外防水  
防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	

保護層  
・ 設ける（※図示による  
・  
）  
・ 設けない  
・ E-1の工程3を行う部位  
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位  
・  
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
・  
・ 屋上排水溝  
・ 図示による  
・

・改質アスファルトシート防水

○新設防水層（屋根露出防水）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上り塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・改質アスファルトシート類の製造所の仕様 ・	※改質アスファルトシート類の製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1					・適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3					・適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書3.4.2(3) (ウ) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・			・適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書/表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
・  
材料による区分  
※R種  
厚さ（ ）mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
・  
材料による区分  
※R種  
厚さ（ ）mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS/A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
・  
材料による区分  
※R種  
厚さ（ ）mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
・  
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類  
※改質アスファルトシート類の製造所の指定  
・  
設置数量  
※改質アスファルトシート類の製造所の指定  
・  
（個）

絶縁断熱工法の防湿用シート  
・ 設置する  
・ 設置しない

3	防水改修工事	○合成高分子系 ルーフィングシート防水	新設防水層の種類	[3. 5. 2～4] [表3. 5. 1～3]										○シーリング	新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種類	防露材のホルムアルデヒド放散量							
			改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射 反射率 防水	備考			改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び 各工程の使用量	保護層	※F☆☆☆☆ ・ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ 図示による 銅管製といの防露巻き ※改修標準仕様書 表3. 8. 4による ・					
			・ P0S ・ S4S	・ S-F1			・ ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	※ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	・ 適用する ・ ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない				・ P1S	・ S-C1		・	※7mm以下 ・	・ 保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ（      mm）					
				・ S-F2						・ 適用する				平場の保護モルタル床塗りににおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度 ・ 目地の種類 ※押し目地 ・ 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書 表3. 5. 1から表3. 5. 3による ○JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類      ○ 図示 厚さ      ○    1. 5mm以上 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ 固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0. 4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板 又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ・ 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・（      ）個 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・ 行う（ ・ 図示による           ） プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り （種別S-F1、SI-F1の場合） ・ 行う（ ・ 図示による           ） ・ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の （ ・ 1      ・ 1. 15      ・ 1. 3）倍の風圧力に対応した工法									
				・ S-M1			・ ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	※ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	・ 適用する										・ 保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ（      mm）				
				・ S-M2					・ 適用する														
			・ S3S	・ S-F1	・ プレキャスト コンクリート 下地 ・		・ ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	※ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	・ 適用する ・ ・ 設ける ・ 設けない														
				・ S-F2	・ プレキャスト コンクリート 下地 ・					・ 適用する													
			・ M4S	・ S-M1			・ ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	※ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	・ 適用する ・ ・ 設ける ・ 設けない														
				・ S-M2						・ 適用する													
			・ P0S1 ・ P3S1 ○ P4S1 ・ M4S1	・ SI-F1	・ プレキャスト コンクリート 下地 ・	改修標準仕様書 3. 5. 2 (3) (Ⅰ) (b) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・ ・ 25 ・ 50	・ ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	※ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	・ 適用する ・ ○ 設ける ○ 設けない 改修用ドレン ○ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ○ 設けない														
				・ SI-F2	・ プレキャスト コンクリート 下地 ・				・ 適用する														
				・ SI-M1		改修標準仕様書 3. 5. 2 (3) (Ⅰ) (a) (種類) ○ 図示	・ ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	※ルーフィング シートの製造所の仕様 ・	・ 適用する														
				○ SI-M2	○ 屋上 ○ 1階屋根	(厚さ) (mm) ○ 35 ・ 25 ・ 50			・ 適用する														
			S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・ 設置する ○ 設置しない																				
													○塗膜防水	新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種類	○アルミニウム 製笠木	種類 ・ 押出形材形 （ ・ 押出250形      ・ 押出300形      ・ 押出350形） ○板材折曲げ形（○オープン形式      ・ シール形式） 本体幅（    200      ）mm 板厚   （※2. 0mm           mm） 表面処理 種別（      ）種 色合等   ○標準色（      シルバー      ） ・ 特注色（           ） 既存笠木等の撤去 ○ 行う（範囲      ○ 図示による           ） ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示による 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示による 笠木の固定金具の工法等 1章 適用区分による風圧力の （○ 1      ・ 1. 15      ・ 1. 3）倍の風圧力に対応した工法							
														新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種類									
			改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 防水	備考			改修工法	新設種別	施工箇所	種類	使用量	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない						
			・ P0X	※X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・		・ 主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない														
			・ L4X	・ X-1 ※X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・		・ 主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない														
			ウレタンゴム系塗膜防水工法X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類      ※主材料の製造所の仕様 ・ 設置数量      ※主材料の製造所の仕様 ・      （個）																				
													○シーリング	シーリング改修工法の種類      [3. 1. 4]    [3. 7. 2、3、7、8] ○シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドプレーカー張り ・ 適用する      ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する      ・ 適用しない									
													○とい	シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 表3. 7. 1による。 施工箇所      シーリング材の種類（記号） 断熱複合パネル・水切りカバー等      MS-2 既存打継目地・既存開口部等      MS-2 ・ 仕上げを行わない施工箇所 ・ 図示による      ・ シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3. 7. 3(1)による ○ 図示による ・ 接着性試験 ※簡易接着性試験      ・ 引張接着性試験									
														といその他の材種      [3. 8. 2、3] ・ 配管用鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ○ ルーフドレン ・ 表面処理鋼板 ・ とい受金物 材種 ※改修標準仕様書3. 8. 2による （溶融亜鉛めっきを行ったもの） ○ ステンレス 形状 ※市販品（とい径100以下） ※25×4. 5以上（とい径100を超えるもの） ・ 取付け間隔 ※改修標準仕様書3. 8. 2による ・ 足金物 材種 ※改修標準仕様書3. 8. 2による （溶融亜鉛めっきを行ったもの） ・ 形状 ※市販品 ・ 取付け間隔 ※改修標準仕様書3. 8. 2による ・ 多雪地域 ○ 適用する      ・ 適用しない									





4-3

外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り  
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）  
・  
タイル張りの工法  
・外装タイル  
・密着張り  
・改良圧着張り  
・ユニットタイル  
・マスク張り  
・モザイクタイル張り  
シーリング  
改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り  
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）  
・  
シーリング材の種類  
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地  
※ポリウレタン系シーリング材  
・  
伸縮調整目地その他の目地  
※変成シリコーン系シーリング材  
・  
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

目地詰め ※行う ・行わない

・浮き部改修工法

[4.1.4] [4.4.5.9～15] [4.5.9～15]							
工法の種類	アンカーピンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注 入 量 (mL/箇所)	延べ広さ (㎡)	
	一般部	指定部	一般部	指定部		一般部	指定部
・アンカーピンが部分球杉樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25 ・		
・アンカーピンが全面球杉樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・		
・アンカーピンが全面球リマセメントスライ注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・		
・注入口付アンカーピンが部分球杉樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25 ・		
・注入口付アンカーピンが全面球杉樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・		
・注入口付アンカーピンが全面球リマセメントスライ注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・		
・注入口付アンカーピンが球杉樹脂注入タイル固定工法	・	・			※25 ・		
・タイル部分張り替え工法							
・タイル張り替え工法							

アンカーピンの材質  
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの  
・  
注入口付アンカーピンの材質  
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径6mm程度  
・

4-4

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

○既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

○下地調整塗材

○仕上塗材仕上げ

[4.5.4]

工 法	処 理 範 囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	○浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	○欠損部改修工法
○水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ○図示による	

※下地調整塗材  
・ポリマーセメントモルタル  
（性能、試験方法は別表による）

新規仕上塗材の種類 [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]

・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げる形状	工 法	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	・
・可とう形外装塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	・
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け	・
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げる形状	工 法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する	・
・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		

・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.4.5、16]

・伸縮調整目地改修工法  
伸縮調整目地の位置及び寸法  
・図示による  
・  
シーリングは、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

・目地改修工法





















7

塗装改修工事

・材料

○下地調整

○素地ごしらえ

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆  
防火材料  
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
・以下の箇所を除き防火材料とする。  
（箇所：）  
  
塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲  
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す  
・図示による  
・  
  
既存錆止め塗料の鉛含有量調査  
・行う（箇所）  
○行わない  
  
下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	
鉄鋼面	※RB種 ・	
亜鉛めっき鋼面	※RB種 ・	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種 ・RA種	
モルタル面及び せっこうプラスター面	※RB種 ・	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、 ALCパネル面	※RB種 ・	・行う ○行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種 ・RC種	・行う ○行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※RB種 ・	

[7. 3. 2～7]

下地面等	種別
木部	不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合
鉄鋼面（DP以外）	※C種・A種・B種
鉄鋼面（DPのみ）	※B種・A種・C種
亜鉛めっき鋼面	（鋼製建具等以外） （鋼製建具等）
モルタル面及びせっこうプラスター面	※B種・A種
コンクリート面（DP以外）及び ALCパネル面	※B種・A種
押出成形セメント板面及び コンクリート面（DPのみ）	・A種・B種
コンクリート面（DPのみ）	※A種・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	※B種・A種

○錆止め塗料塗り

○塗装

錆止め塗料塗りの種別

素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP	塗替え	As種
鋼面	錆止め塗装のまま （工程の種別は表7. 4. 3）	新規見え掛け	As種
		新規見え隠れ	As種
	EP-G （工程の種別は表7. 4. 3）	塗替え	※Bs種 ・As種
		新規見え掛け	※Bs種 ・As種
		新規見え隠れ	※Bs種 ・As種
	DP （工程の種別は表7. 4. 4）	塗替え	7. 4. 2 (1) (4) (b) による
		新規	7. 4. 2 (1) (4) (a) による

亜鉛めっき鋼面	SOP （工程の種別は表7. 4. 5）	塗替え	※Az種 ・Bz種	※C種 ・
		新鋼製建具等	※Az種 ・Bz種	※A種 ・
		規その他	※Bz種 ・	※B種 ・
	EP-G （工程の種別は表7. 4. 5）	塗替え	Cz種 ・	※C種 ・
		新鋼製建具等	Cz種 ・	※A種 ・
		規その他	Cz種 ・	※B種 ・
	DP （工程の種別は表7. 4. 6）	塗替え	Bz種 ・	
		新規	Bz種 ・	

[7. 5. 2～7. 13. 2]

塗装の種類	塗装面	工程
○合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）	木部屋外	※B種・As種
	木部屋内	※B種・As種
	鉄鋼面	※B種・As種
塗装の種類 ※1種 ・2種	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種・As種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種・As種
・クリヤラッカー塗り（CL）		※B種・As種（着色顔料の種類）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）		※B種・As種・As種・As種
○耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（2）級	・
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（）級	・
	コンクリート面 押出成形セメント板面	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G）	コンクリート面等	※B種・As種・As種・As種
	屋内の木部	※B種・As種・As種・As種
	屋内の鉄鋼面	※B種・As種・As種・As種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種・As種・As種・As種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）		※B種・As種・As種・As種
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（EP-T）		※B種・As種・As種・As種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※B種・As種・As種・As種
・ピグメントステイン塗り		
・木材保護塗料塗り（WP）		※B種・As種・As種・As種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしめ止め  
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書 表7. 9. 1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする  
・  
  
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め  
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書 表7. 9. 10. 1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする  
・  
  
・高日射反射率塗料塗り  
下地調整（改修標準仕様書 表7. 2. 2、3）  
※RB種・RC種

工程	塗料その他	塗付容量 （kg/m <sup>2</sup> ）
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料

規格番号	規格名称	種類	等級	塗付容量 （kg/m <sup>2</sup> ）
JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用  
・適用しない  
・適用する  
（着色剤：・溶剤系着色剤・油性染料着色剤）  
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用  
・適用する  
・適用しない

9

環境配慮改修工事

○石綿含有建材の除去工事

・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点	[9. 1. 1、3～6]		
適用 測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 （各施工箇所ごと）
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計点
・測定2		調査対象室外部の付近	・計点
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計点
・測定4		セキュリティゾーン入口	・計点
・測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計点
・測定6		処理作業室外・施工区画周辺・敷地境界	・計点
・測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計点
・測定8	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	・計点
・測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	・計点

測定方法  
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径 （mm）	試料の吸引流量 （L/min）	試料の吸引時間 （min）
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・測定	25	10	120
・測定 ・測定	47	10	240
・測定 ・測定			

石綿含有建材の処理  
・石綿含有吹付け材（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）の除去  
除去対象範囲  
・図示による  
除去工法  
※改修標準仕様書9. 1. 3 (2) (7) による  
・  
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置  
※湿潤化・固形化  
除去した石綿含有吹付け材等の処分  
・埋立処分（管理型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
  
・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去  
除去対象範囲  
・図示による  
除去工法  
※手ばらし  
除去した石綿含有保温材等の飛散防止  
※湿潤化・固形化  
除去した石綿含有保温材等の処分  
・埋立処分（管理型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
  
・石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破砕等による除去  
除去対象範囲  
・図示による  
隔離養生（負圧不要）方法  
・図示による  
足場  
・図示による  
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分  
・埋立処分（安定型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
  
○石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。）  
除去対象範囲  
○図示による  
除去した石綿含有成形板の処分  
・石綿含有せっこうボード  
※埋立処分（管理型最終処分場）  
○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板  
・埋立処分（安定型最終処分場）  
○中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
・

	<div>・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 ・ 養生方法 ・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</div> <div>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○ 図示による</div>																							
○外断熱改修工事	<div>断熱材 断熱材の種類 ○<sup>※</sup>「法」法<sup>※</sup> リフォーム断熱材（熱貫流率 0.033W／㎡・K以下同等品） 断熱材の厚さ（mm） ○40 施工箇所 ○ 図示による ※屋上防水面 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 外装材<table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・岩倉化学工業(株)フライングGPA<sup>※</sup> 社同等品</td><td>難燃</td><td></td></tr></table></div> <div>鋼材 改修特記仕様書 8章 8-3 鉄骨工事 鋼材 による。 笠木 改修特記仕様書 3章 アルミニウム製笠木 による。 既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・行う ○行わない 下地面の清掃 ○ 行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書 4章 外壁改修工事による ○ 図示 工法 1章 適用区分による風圧力の （・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 断熱材の施工 ○ 断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ○ 外装材製造所の仕様による ・ 通気層の有無 ○有（ 5 mm） ・無 外装材の外壁への取付け ・ 図示による ○外装材製造所の仕様による 笠木の施工 ・改修特記仕様書 3章 アルミニウム製笠木 による ○ 図示</div>	種類	防火性能	備考	・岩倉化学工業(株)フライングGPA <sup>※</sup> 社同等品	難燃		○断熱・防露改修工事	<div>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ○断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ○ポリイソシアヌレートフォーム断熱材 厚さ（mm） ○35 施工場所 ○屋上 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ（mm） ・25 ・30 施工箇所 ・ 図示による ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ（mm） ・ ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ（mm） ・ ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法</div> <div>植栽基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による （品質・性能、試験方法は別表による） 工法 1章 適用区分による 風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力対応した工法 かん水装置 ・設置する（種類 ） 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・</div>		・透水性アスファルト舗装改修工事	<div>適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示による 路床 路床の材料<table><tr><th>種別</th><th>材料</th><th>厚さ（mm）</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td><td>・ 図示による ・</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂</td><td>・ 図示による ・</td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>・砂 ・</td><td>・ 図示による ・</td></tr></table> （凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験） ・行う ・行わない ・路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号） 添加量 ・ kg/? （目標CBR ・3以上 ） 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/㎡以上 厚さ（mm） ・0.5～1.0 引張強さ ・98N/5cm（10kgf/5cm）以上 透水係数 ・1.5×10<sup>-1</sup> cm/sec以上 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料（改修標準仕様書 表9. 7. 3による種別） ・クラッシャーラン ・粒度調整碎石 ・再生クラッシャーラン ・再生粒度調整碎石 ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ・ 図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・</div>	種別	材料	厚さ（mm）	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による ・	・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂	・ 図示による ・	・フィルター層	・砂 ・	・ 図示による ・
種類	防火性能	備考																						
・岩倉化学工業(株)フライングGPA <sup>※</sup> 社同等品	難燃																							
種別	材料	厚さ（mm）																						
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による ・																						
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂	・ 図示による ・																						
・フィルター層	・砂 ・	・ 図示による ・																						







案内図



配置図 1/1000



五所川原市役所  
建設部 建築住宅課

TITLE  
千鳥団地市営住宅(No.4号棟)長寿命化改修工事

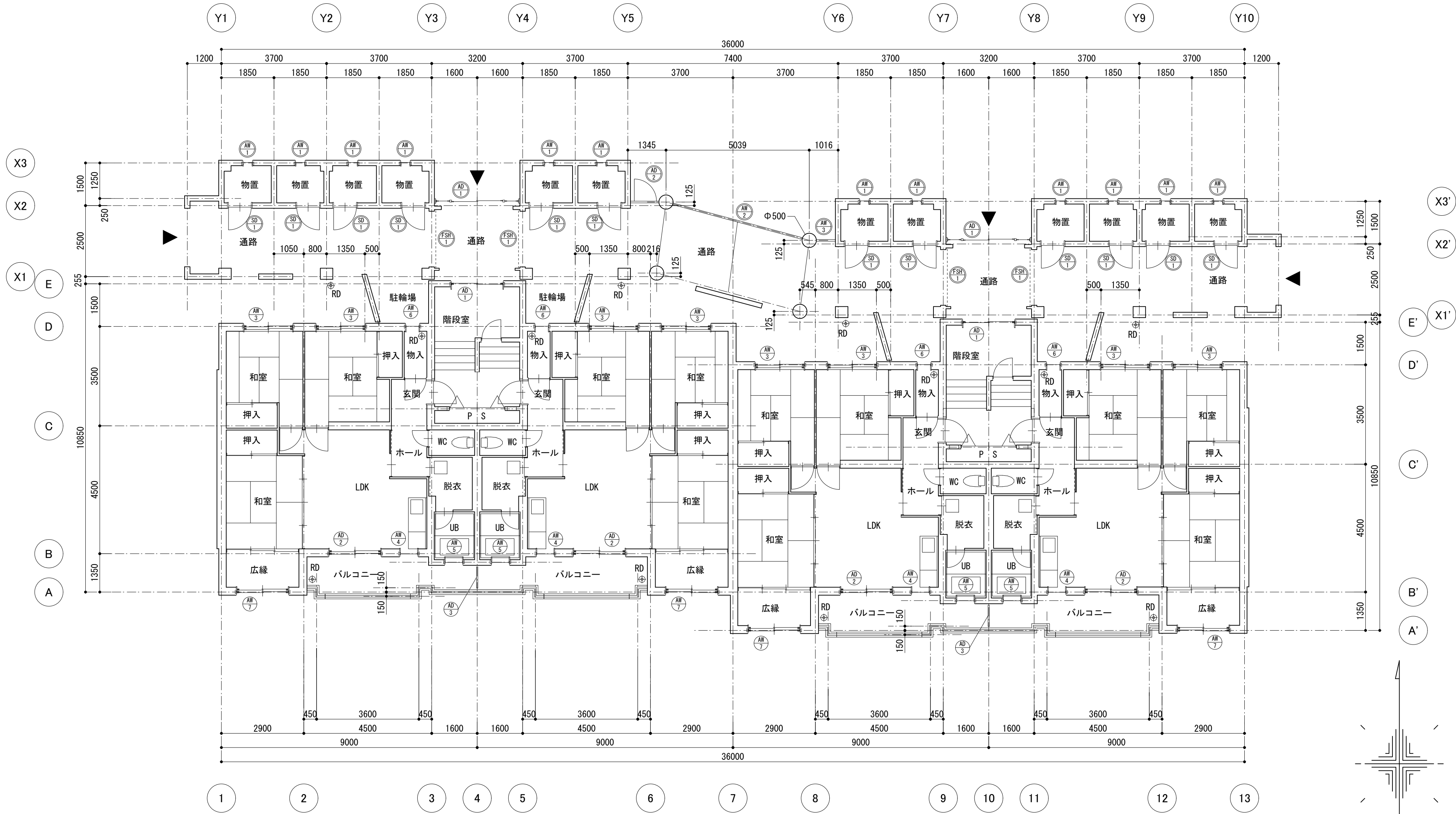
DRAWING  
案内図 ・ 配置図

SCALE  
1/1000

AMENDMENTS												CHECK	設計者	NO.
処理日														
担当者														
確定日														



改 修 工 事 仕 上 表									
防水改修工事（建築）	屋上防水 断熱改修	既存水切り（フラッシュエッジ70）撤去 既存防水シート撤去（平場膨れ部6%程度） 既存塔屋 立上り防水雨押え金物撤去（平型7mm製） 既存ルーフトン撤去  下地処理・調整（平場膨れ部6%程度）ケレン・清掃・ボリマセメントモルタル  新設 7mm製笠木（L-100×200×2.0 オート製作品）ビス止めφ5@450 新設 板金捨て笠木（L-75×180 SGL鋼板 t 0.35） 新設 板金捨て笠木（ [-0～50×75×310～355 SGL鋼板 t 0.35）  新設 平場 合成高分子ルーフィングシート防水(断熱工法)機械的固定工法 非歩行用t1.5 ポリソシアレートフォーム断熱材 t35 熱伝導率0.020W/(m・K) 同等品 改修用ルーフトン共  新設 塔屋立上り 合成高分子ルーフィングシート防水 接着工法 t1.5 新設 塔屋立上り防水雨押え金物 L-8×20程度（7mm製）  取合い部シーリング 処理	外断熱改修	水洗い 高圧ポンプ 10～15MPa程度 断熱複合パネル通気型 t=55 バルコニ面仕上げ塗装 複層塗材E ゆず肌模様程度（外壁：5YR 6/3）  棟番号塗装 1300×2000程度 MSゴシック体（DP塗装）	建具改修工事（建築）	既存建具改修	通路SD・シャッターBOX塗替え 下地調整 鉄鋼面 RB種、錆止め塗装 鉄鋼面 工程C種 SOP塗 鉄鋼面 工程B種  通路SD住戸番号塗装 A-0TF新丸ゴProDB（DP塗装）  断熱ガラス入替え（熱貫流率の基準値 2.3W/㎡・K以下） 既存建具水切りカバー取付（7mm製t=2.0） 建具調整 ※詳細は各階平面図（改修）の凡例参照		
		水洗い 高圧ポンプ 10～15MPa程度 下地調整 コンクリート面 C-1 仕上げ塗装 複層塗材E （外壁:5YR 6/3、雁木:7.5YR 7/3、ワゴント:5PB 6/8） 外壁コンクリート面、1・2階バルコニー軒天、自転車置場軒天							
		既存外壁コンクリート爆裂補修（鉄筋錆止め処理のうえボリマセメントモルタル補修） 補修箇所は各立面図（改修）参照 ※既存外壁下地調整材にアスベスト含有のため、飛散しないよう施工する事  窓格子取外し再取付（ナット類は新品に取替え） 7mm製隔板 取替え ※既設隔板フレキシブルボードにアスベスト含有 ※各部材取付アンカーに延長スリーブ 加工（断熱複合パネル厚 t=55程度）  バルコニー手摺支持金物撤去 ※詳細図（部分）参照 バルコニー物干し金物取外し再取付（ナット類は新品に取替え）		通路段差解消工事（建築）			段差解消	既存インターロッキングブロック80撤去（ブロック再利用） サンドクッション高さ調整のうえインターロッキングブロック敷き直し  合成樹脂塗床撤去後、コンクリート面目荒し ※撤去部は平面図参照	
		1階屋根防水 （雁木部分）		既存防水シート部分補修 ※補修箇所は2階平面図（改修）参照					非常用LED照明器具（レティ天井）交換 LED照明器具（門灯）交換 スイッチ交換（3・4路 防水 プレート付） 自動点滅器交換 煙感知器交換（3種） 連動操作盤・引込開閉器盤・保安器盤の交換 集合計器盤内 主開閉器を中性線欠相保護付きに交換 漏電火災警報器の交換 UHFアンテナの交換 各室LDKの棚下灯をLED照明器具に交換
	バルコニー	バルコニー縦樋カラーVPφ75交換（ステンレス支持金物共）ブラウン色	その他改修	多目的スリーブキャップφ107交換 水返し付（スリーブ延長のため） 樹脂製換気用フード300×250交換（スリーブ延長のため） BSスリーブ延長（既存配管維持のうえで断熱バルコ側にキャップとスリーブを施工）  塔屋 屋根塗替え 下地調整 鉄鋼面RB種 錆止め塗料塗り 鉄鋼面 工程C種 DP塗り（2級 アクリルシリコン樹脂エナメル同等）鉄鋼面	電気設備改修工事	電灯設備 構内配電線路 構内通信線路			
	シーリング改修	打替え 既存トップライト・塔屋破風 MS-2 10×10 打替え 既存外壁打継ぎ目地 MS-2 10×10 打替え 避難ハッチ（ナカ工業KK ST-107）廻り MS-2 10×10 打替え 既存開口 外部廻り MS-2 10×10 打替え EXP.カバー廻り MS-2 10×10 一部 20×10 打替え バルコニー笠木 MS-2 10×10  ※既存外壁下地調整材にアスベスト含有のため、シーリング 撤去時は塗材が飛散しないように施工する事  新設 断熱複合パネル目地・外壁との取合い部 MS-2 10×10 新設 アルミ水切りカバー廻り MS-2 10×10 新設 バルコニー笠木断熱複合バルコ取合い MS-2 10×10 新設 多目的スリーブキャップ、換気用フード、深型フード 取合い MS-2 10×10						既設換気設備の換気フードの更新 入居者設置の既設エアコンの室外機の取外し再取付 入居者設置の既設FFストーブ給排気口の取り外し再取付 PS内の仕切弁と当該の保温を更新 ピロティ部雨水配管フランジ部を更新 雨水ため枡と側溝までの配管の清掃	
		3階バルコニー 軒天改修		天井張替え フレキシブルボード t5撤去後、ケイ酸カルシウム板目透かし張りt=6 塩ビ見切り共 ※既存軒天材アスベスト含有のため、飛散しないよう湿潤化して撤去する事 EP-G塗り 素地こしらえB種共 工程B種			機械設備改修工事	空気調和設備 換気設備 給水設備 排水設備	
		通路改修		軒天塗替え EP-G塗り 下地調整RB種 工程B種 ※既存軒天材アスベスト含有のため、飛散しないよう施工する事					



1 階平面図（現況） 1/100

凡例

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W1800×H2000 7mm製引違い戸 FL3（腰 強化FL5）	2	
	W1800×H1800 7mm製引違い戸 FL3	4	
	W850×H1800 7mm製隔板 FB 5mmVP	2	
	W1800×H900 7mm製引違い窓 FL3		
	W2200×H900 7mm製片開き窓 網入型板6.8		

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W1700×H1300 7mm製引違い窓 1階網入透明6.8、2・3階FL3	8	
	W600×H450 7mm製すべり出し窓 FL3+A12+FL3	4	
	W600×H450 7mm製すべり出し窓 FL3+A12+型板4	4	
	W450×H900 7mm製ガラリ付すべり出し窓 1階網入型板6.8、2・3階型板4	4	
	W1800×H1800 7mm製FIX付引違い窓 FL3	4	

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W2920×H2235 7mm製FIX付引違い戸 FL5（腰 強化FL5）	2	
	W915×H2235 7mm製片開き戸 FL5（腰 強化FL5）	1	
	W300×H1360 7mm製ガラリ付片開き窓 型板4	12	
	W4636×H2235 7mm製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）	1	
	W586×H2235 7mm製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）	1	

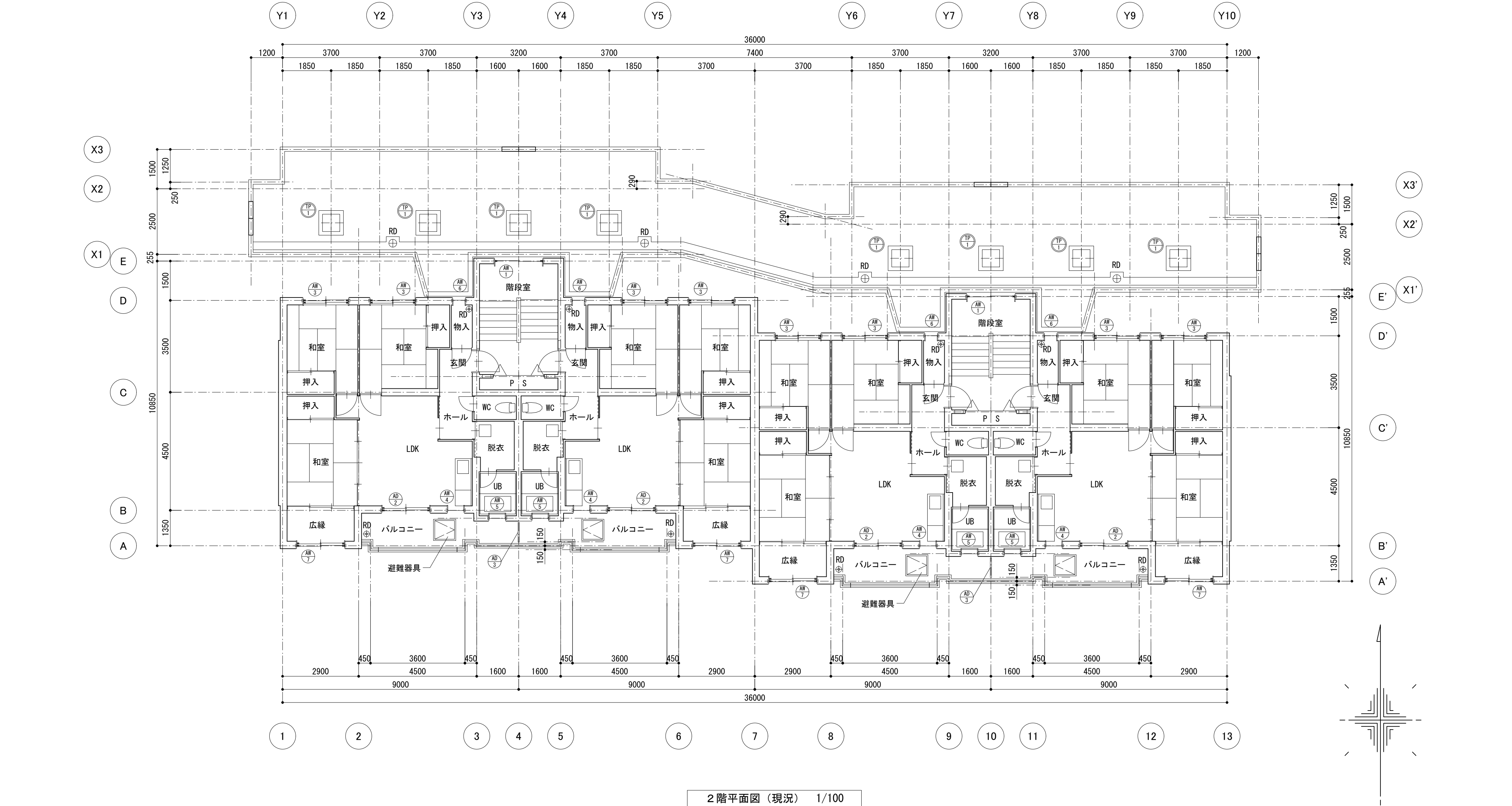
記号	仕 様	箇所	改修内容
	W600×H400 7mm製トップライト 網入透明6.8		
	W800×H2000 鉄製ガラリ付ドア OP	12	
	W1940×H2100 煙感連動防火シャッター（甲防）	4	











2階平面図（現況） 1/100

凡例

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W1800×H2000 7mm製引違い戸 FL3（腰 強化FL5）		
	W1800×H1800 7mm製引違い戸 FL3	4	
	W850×H1800 7mm製隔板 FB 5mmVP	2	
	W1800×H900 7mm製引違い窓 FL3	2	
	W2200×H900 7mm製片開き窓 網入型板6.8		

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W1700×H1300 7mm製引違い窓 1階網入透明6.8、2・3階FL3	8	
	W600×H450 7mm製すべり出し窓 FL3+A12+FL3	4	
	W600×H450 7mm製すべり出し窓 FL3+A12+型板4	4	
	W450×H900 7mm製ガラリ付すべり出し窓 1階網入型板6.8、2・3階型板4	4	
	W1800×H1800 7mm製FIX付引違い窓 FL3	4	

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W2920×H2235 7mm製FIX付引違い戸 FL5（腰 強化FL5）		
	W915×H2235 7mm製片開き戸 FL5（腰 強化FL5）		
	W300×H1360 7mm製ガラリ付片開き窓 型板4		
	W4636×H2235 7mm製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		
	W586×H2235 7mm製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W600×H400 7mm製トップライト 網入透明6.8	8	
	W800×H2000 鉄製ガラリ付ドア OP		
	W1940×H2100 煙感連動防火シャッター（甲防）		



五 所 川 原 市 役 所  
建 設 部 建 築 住 宅 課

TITLE  
千鳥団地市営住宅(No.4号棟)長寿命化改修工事

DRAWING  
2階平面図（現況）

SCALE  
1/100

AMENDMENTS  
処理日  
担当者  
確定日

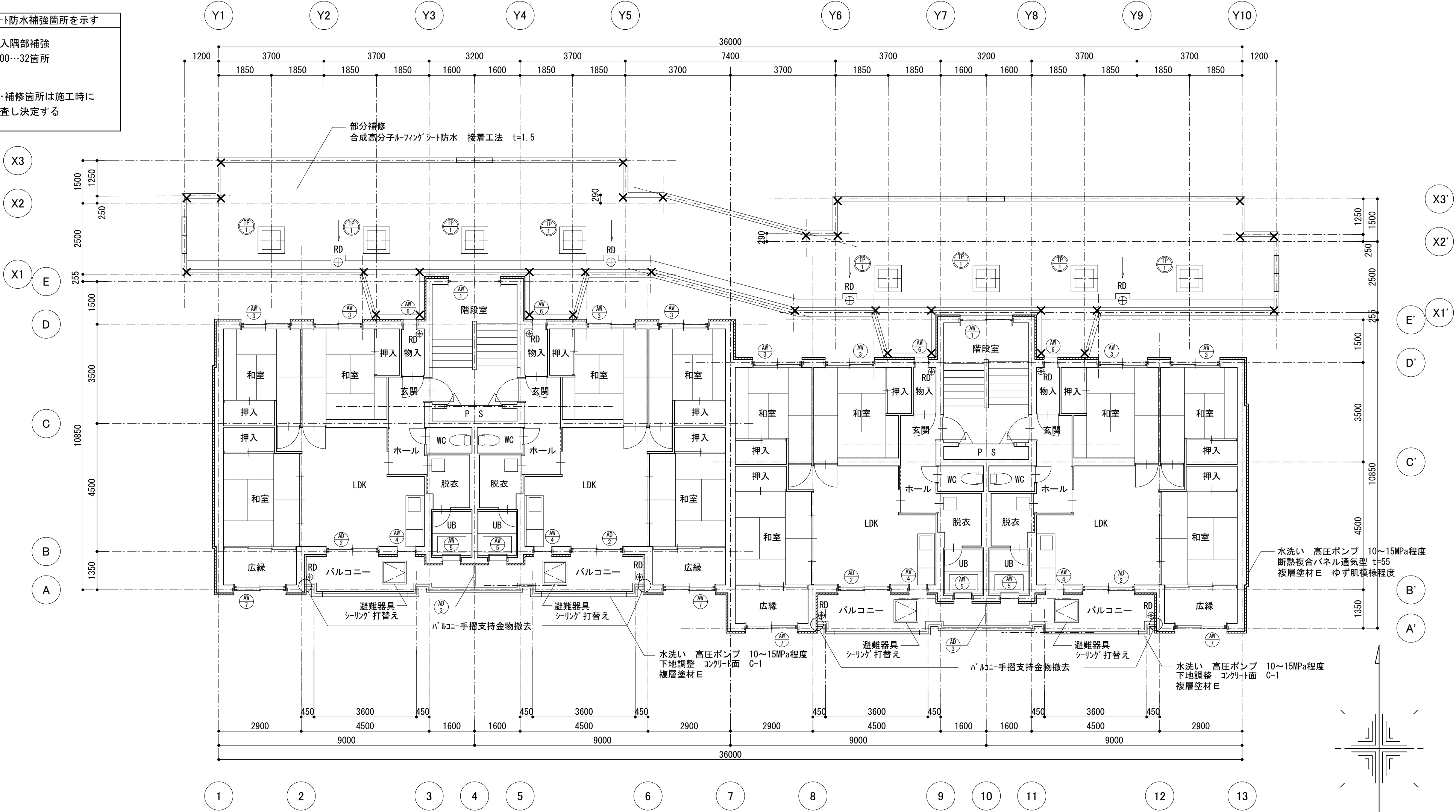
CHECK  
設計者  
NO.  
A-17

凡例

✕	シート防水補強箇所を示す
---	--------------

出隅・入隅部補強  
200×200…32箇所

※補強・補修箇所は施工時に  
再調査し決定する



2 階平面図（改修） 1/100

凡例

=====	外断熱改修部を示す
-------	-----------

凡例

記号	仕 様	箇所	改修内容
AD 1	W1800×H2000 7㍉製引違い戸 FL3（腰 強化FL5）		
AD 2	W1800×H1800 7㍉製引違い戸 FL3	4	シーリング 打替え及び7㍉水切り取付
AD 3	W850×H1800 7㍉製隔板 FB 5mmVP	2	取外し後、新設
AW 1	W1800×H900 7㍉製引違い窓 FL3	2	シーリング 打替え及び7㍉水切り取付
AW 2	W2200×H900 7㍉製片開き窓 網入型板6.8		

記号	仕 様	箇所	改修内容
AW 3	W1700×H1300 7㍉製引違い窓 2・3階FL3	8	シーリング 打替え、7㍉水切り取付、断熱が 入替 が 入構成 (FL3+真空0.2+LOW-E3)
AW 4	W600×H450 7㍉製すべり出し窓 FL3+A12+FL3	4	シーリング 打替え及び7㍉水切り取付
AW 5	W600×H450 7㍉製すべり出し窓 FL3+A12+型板4	4	シーリング 打替え及び7㍉水切り取付
AW 6	W450×H900 7㍉製ガラリ付すべり出し窓 2・3階型板4	4	シーリング 打替え、7㍉水切り取付、断熱が 入替 が 入構成 (刈板3+真空0.2+LOW-E3)
AW 7	W1800×H1800 7㍉製FIX付引違い窓 FL3	4	シーリング 打替え及び7㍉水切り取付

記号	仕 様	箇所	改修内容
AD 1	W2920×H2235 7㍉製FIX付引違い戸 FL5（腰 強化FL5）		
AD 2	W915×H2235 7㍉製片開き戸 FL5（腰 強化FL5）		
AW 1	W300×H1360 7㍉製ガラリ付片開き窓 型板4		
AW 2	W4636×H2235 7㍉製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		
AW 3	W586×H2235 7㍉製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		

記号	仕 様	箇所	改修内容
TP 1	W600×H400 7㍉製トップライト 網入透明6.8	8	シーリング 打替え
SD 1	W800×H2000 鉄製ガラリ付ドア OP		
FSH 1	W1940×H2100 煙感連動防火シャッター（甲防）		



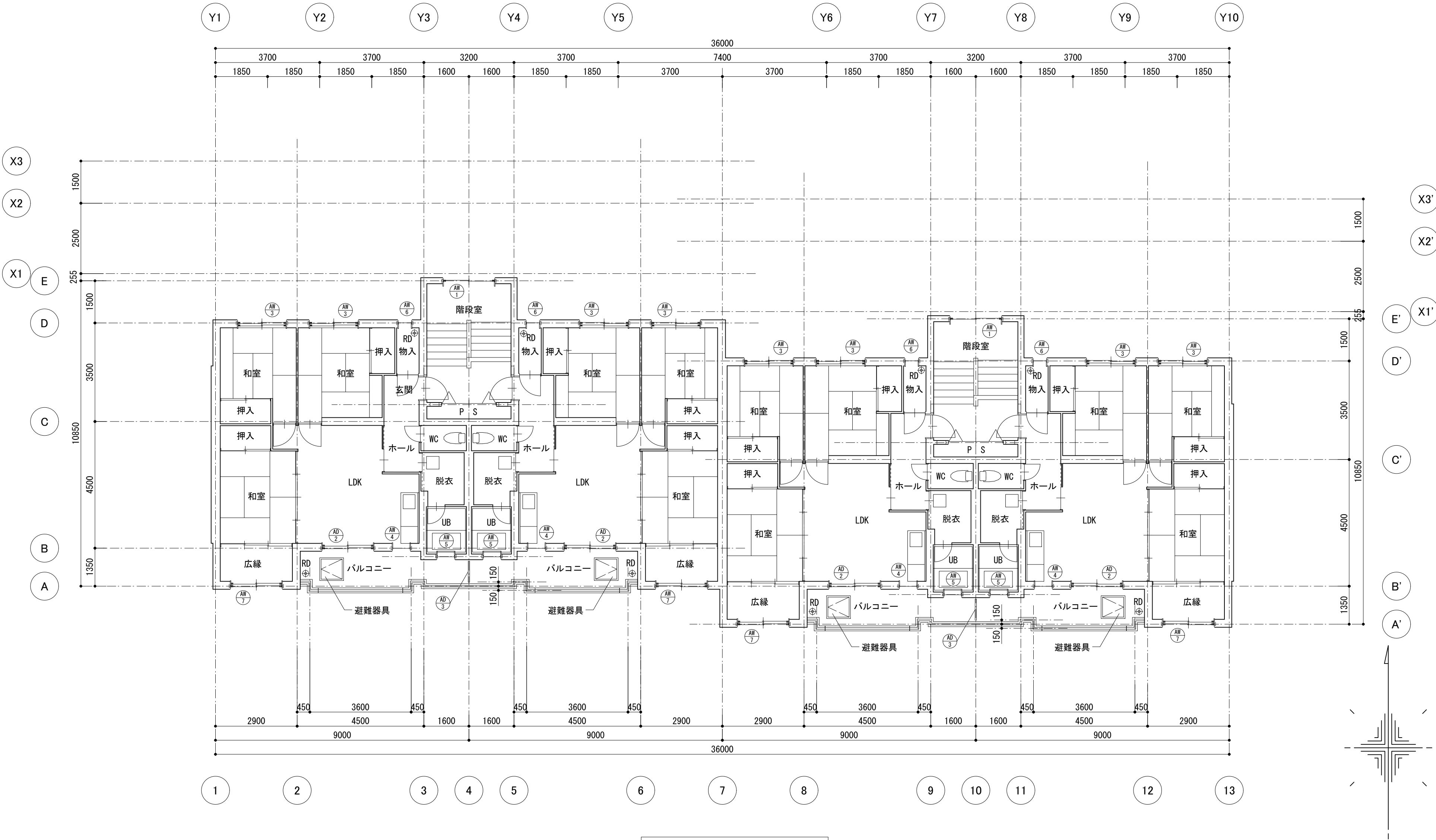
五 所 川 原 市 役 所  
建 設 部 建 築 住 宅 課

TITLE  
千鳥団地市営住宅 (No.4号棟) 長寿命化改修工事

DRAWING  
2 階平面図（改修）

SCALE  
1/100

AMENDMENTS						CHECK		設計者	NO.
処理日									
担当者									A-18
確定日									



3 階平面図（現況） 1/100

凡例

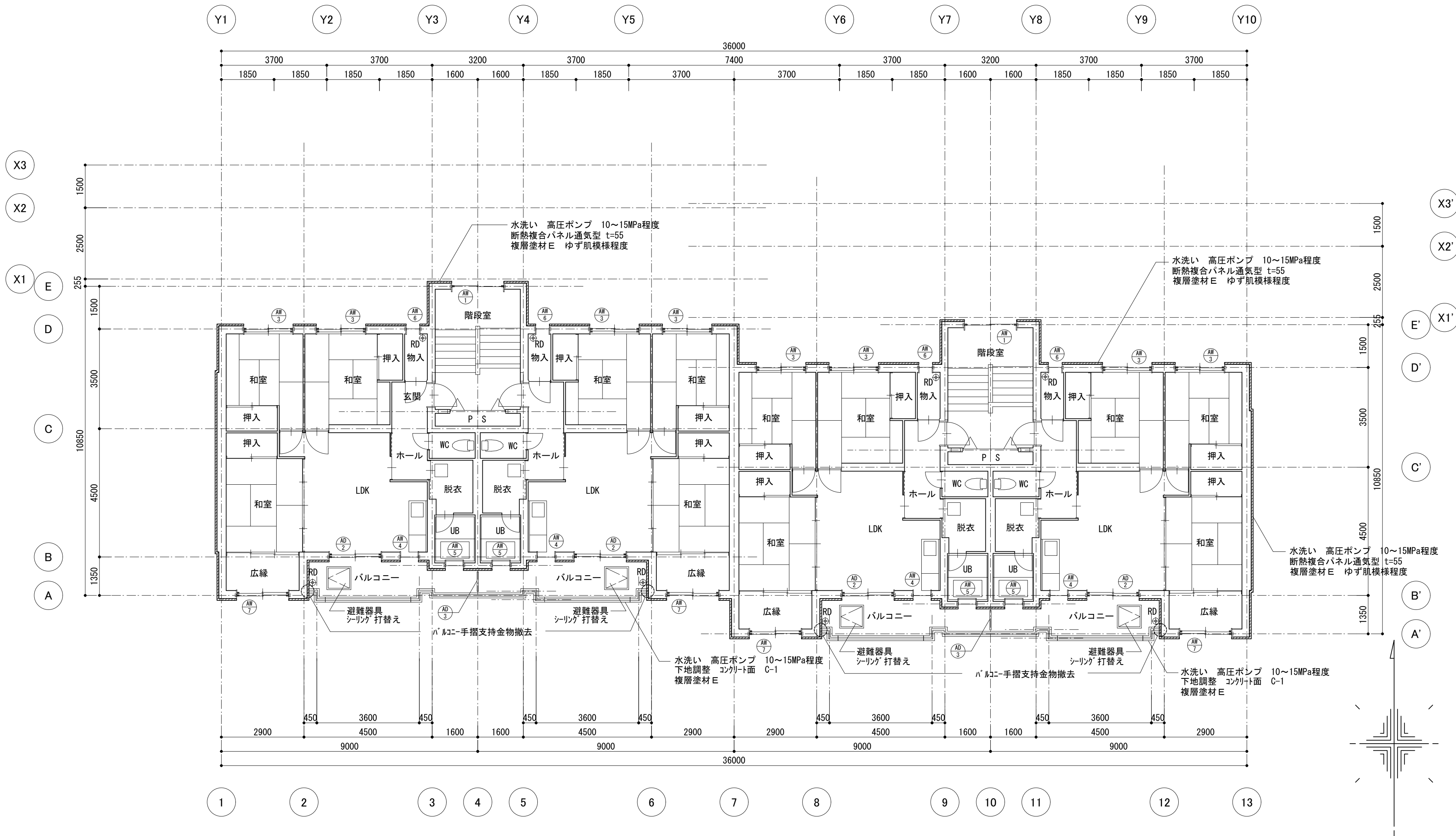
記号	仕 様	箇所	改修内容
AD 1	W1800×H2000 7㍓製引違い戸 FL3（腰 強化FL5）	4	
AD 2	W1800×H1800 7㍓製引違い戸 FL3		
AD 3	W850×H1800 7㍓製隔板 FB 5mmVP		
AW 1	W1800×H900 7㍓製引違い窓 FL3	2	
AW 2	W2200×H900 7㍓製片開き窓 網入型板6.8		

記号	仕 様	箇所	改修内容
AW 3	W1700×H1300 7㍓製引違い窓 1階網入透明6.8、2・3階FL3	8	
AW 4	W600×H450 7㍓製すべり出し窓 FL3+A12+FL3	4	
AW 5	W600×H450 7㍓製すべり出し窓 FL3+A12+型板4	4	
AW 6	W450×H900 7㍓製がり付すべり出し窓 1階網入型板6.8、2・3階型板4	4	
AW 7	W1800×H1800 7㍓製FIX付引違い窓 FL3	4	

記号	仕 様	箇所	改修内容
AD 1	W2920×H2235 7㍓製FIX付引違い戸 FL5（腰 強化FL5）		
AD 2	W915×H2235 7㍓製片開き戸 FL5（腰 強化FL5）		
AW 1	W300×H1360 7㍓製ガラリ付片開き窓 型板4		
AW 2	W4636×H2235 7㍓製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		
AW 3	W586×H2235 7㍓製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		

記号	仕 様	箇所	改修内容
TP 1	W600×H400 7㍓製トップライト 網入透明6.8		
SD 1	W800×H2000 鉄製ガラリ付ドア OP		
FSH 1	W1940×H2100 煙感連動防火シャッター（甲防）		





3 階平面図（改修） 1/100

凡例

	外断熱改修部を示す
--	-----------

凡例

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W1800×H2000 7mm製引違い戸 FL3（腰 強化FL5）		
	W1800×H1800 7mm製引違い戸 FL3	4	シーリング 打替え及び7mm水切り取付
	W850×H1800 7mm製隔板 FB 5mmVP	2	取外し後、新設
	W1800×H900 7mm製引違い窓 FL3	2	シーリング 打替え及び7mm水切り取付
	W2200×H900 7mm製片開き窓 網入型板6.8		

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W1700×H1300 7mm製引違い窓 2・3階FL3	8	シーリング 打替え、7mm水切り取付、断熱ガラス構成（FL3＋真空0.2＋LOW-E3）
	W600×H450 7mm製すべり出し窓 FL3+A12+FL3	4	シーリング 打替え及び7mm水切り取付
	W600×H450 7mm製すべり出し窓 FL3+A12+型板4	4	シーリング 打替え及び7mm水切り取付
	W450×H900 7mm製ガラリ付すべり出し窓 2・3階型板4	4	シーリング 打替え、7mm水切り取付、断熱ガラス構成（スリ板3＋真空0.2＋LOW-E3）
	W1800×H1800 7mm製FIX付引違い窓 FL3	4	シーリング 打替え及び7mm水切り取付

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W2920×H2235 7mm製FIX付引違い戸 FL5（腰 強化FL5）		
	W915×H2235 7mm製片開き戸 FL5（腰 強化FL5）		
	W300×H1360 7mm製ガラリ付片開き窓 型板4		
	W4636×H2235 7mm製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		
	W586×H2235 7mm製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W600×H400 7mm製トップライト 網入透明6.8		
	W800×H2000 鉄製ガラリ付ドア OP		
	W1940×H2100 煙感連動防火シャッター（甲防）		



五 所 川 原 市 役 所  
建 設 部 建 築 住 宅 課

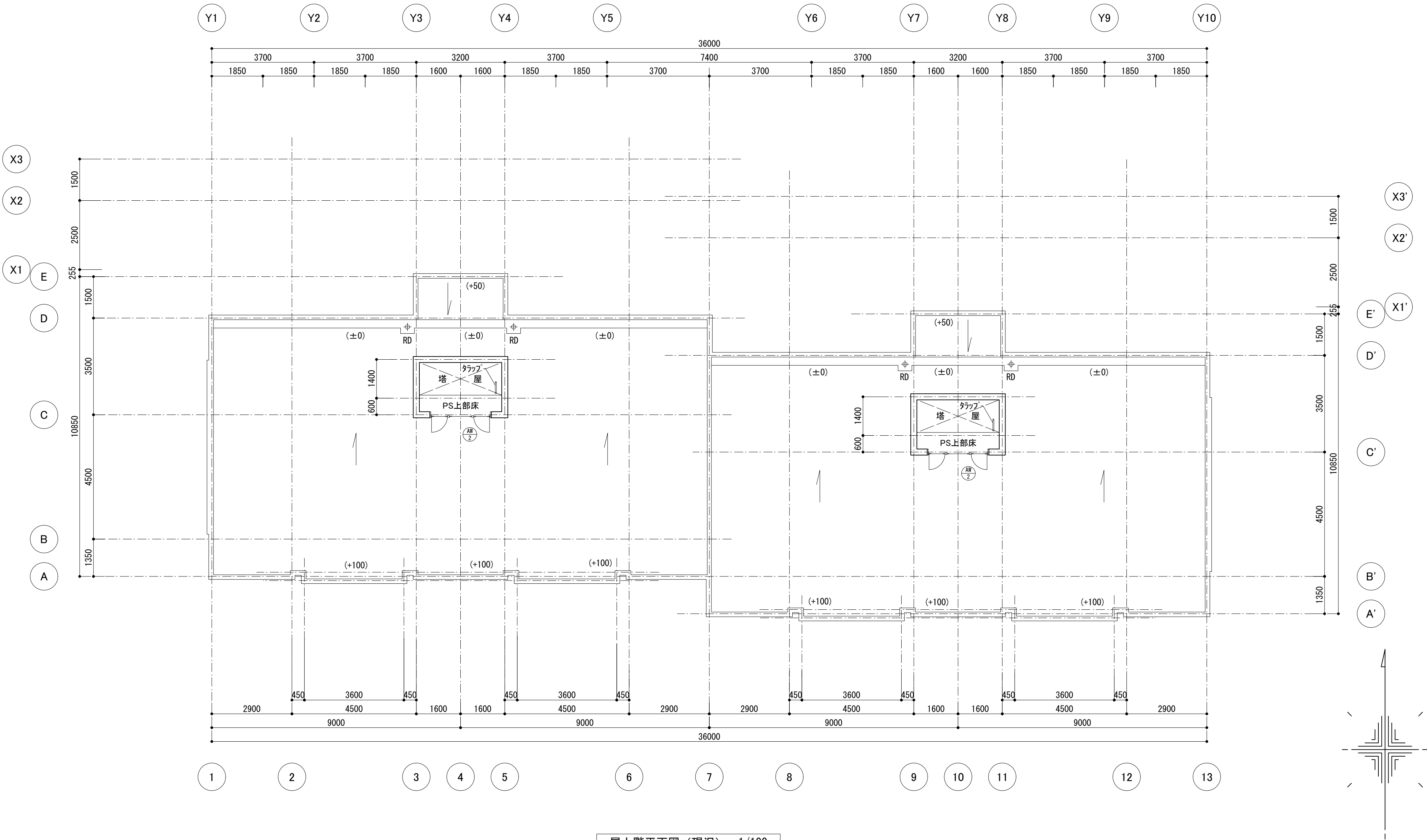
TITLE  
千鳥団地市営住宅（No.4号棟）長寿命化改修工事

DRAWING  
3 階平面図（改修）

SCALE  
1/100

AMENDMENTS									
処理日									
担当者									
確定日									

CHECK	設計者	NO.
		A-20



屋上階平面図（現況） 1/100

凡例

記号	仕 様	箇所	改修内容
AD 1	W1800×H2000 7ㇻ製引違い戸 FL3（腰 強化FL5）		
AD 2	W1800×H1800 7ㇻ製引違い戸 FL3		
AD 3	W850×H1800 7ㇻ製隔板 FB 5mmVP		
AW 1	W1800×H900 7ㇻ製引違い窓 FL3		
AW 2	W2200×H900 7ㇻ製片開き窓 網入型板6.8	2	

記号	仕 様	箇所	改修内容
AW 3	W1700×H1300 7ㇻ製引違い窓 1階網入透明6.8、2・3階FL3		
AW 4	W600×H450 7ㇻ製すべり出し窓 FL3+A12+FL3		
AW 5	W600×H450 7ㇻ製すべり出し窓 FL3+A12+型板4		
AW 6	W450×H900 7ㇻ製ガラリ付すべり出し窓 1階網入すり板6.8、2・3階型板4		
AW 7	W1800×H1800 7ㇻ製FIX付引違い窓 FL3		

記号	仕 様	箇所	改修内容
AD 1	W2920×H2235 7ㇻ製FIX付引違い戸 FL5（腰 強化FL5）		
AD 2	W915×H2235 7ㇻ製片開き戸 FL5（腰 強化FL5）		
AW 1	W300×H1360 7ㇻ製ガラリ付片開き窓 型板4		
AW 2	W4636×H2235 7ㇻ製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		
AW 3	W586×H2235 7ㇻ製FIX窓 FL5（腰 強化FL5）		

記号	仕 様	箇所	改修内容
TP	W600×H400 7ㇻ製トップライト 網入透明6.8		
SD	W800×H2000 鉄製ガラリ付ドア OP		
FSH	W1940×H2100 煙感連動防火シャッター（甲防）		



五所川原市役所  
建設部 建築住宅課

TITLE

千鳥団地市営住宅(No.4号棟)長寿命化改修工事

DRAWING

屋上階平面図（現況）

SCALE

1/100

AMENDMENTS

処理日  
担当者  
確定日

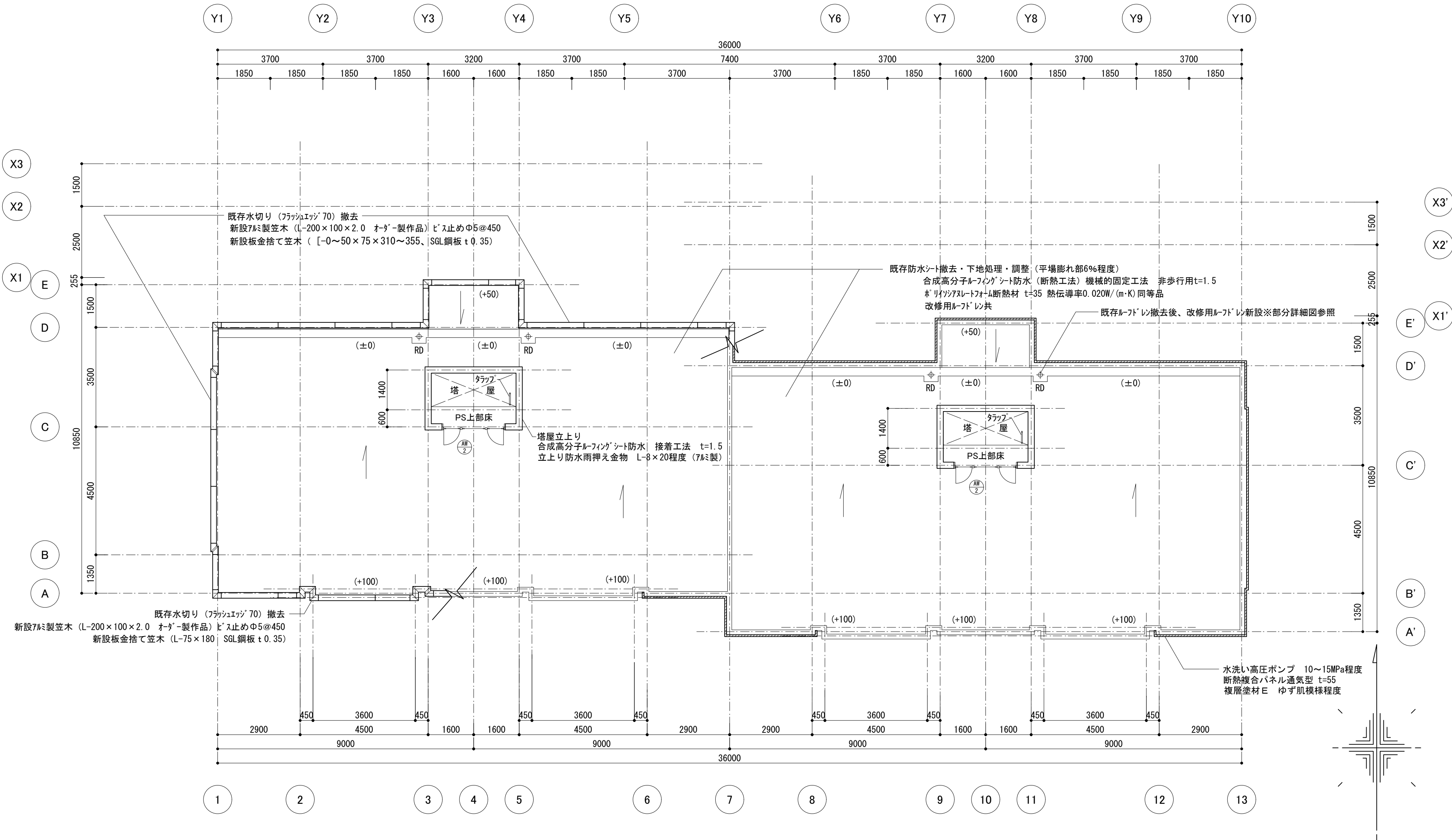
CHECK

設計者

NO.

A-21





屋上階平面図 (改修) 1/100

凡例	
	外断熱改修部を示す

凡例

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W1800×H2000 7mm製引違い戸 FL3 (腰 強化FL5)		
	W1800×H1800 7mm製引違い戸 FL3		
	W850×H1800 7mm製隔板 FB 5mmVP		
	W1800×H900 7mm製引違い窓 FL3		
	W2200×H900 7mm製片開き窓 網入型板6.8	2	シーリング 打替え

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W1700×H1300 7mm製引違い窓 1階網入透明6.8、2・3階FL3		
	W600×H450 7mm製すべり出し窓 FL3+A12+FL3		
	W600×H450 7mm製すべり出し窓 FL3+A12+型板4		
	W450×H900 7mm製ガラリ付すべり出し窓 1階網入すり板6.8、2・3階型板4		
	W1800×H1800 7mm製FIX付引違い窓 FL3		

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W2920×H2235 7mm製FIX付引違い戸 FL5 (腰 強化FL5)		
	W915×H2235 7mm製片開き戸 FL5 (腰 強化FL5)		
	W300×H1360 7mm製ガラリ付片開き窓 型板4		
	W4636×H2235 7mm製FIX窓 FL5 (腰 強化FL5)		
	W586×H2235 7mm製FIX窓 FL5 (腰 強化FL5)		

記号	仕 様	箇所	改修内容
	W600×H400 7mm製トップライト 網入透明6.8		
	W800×H2000 鉄製ガラリ付ドア OP		
	W1940×H2100 煙感連動防火シャッター (甲防)		



五 所 川 原 市 役 所  
建 設 部 建 築 住 宅 課

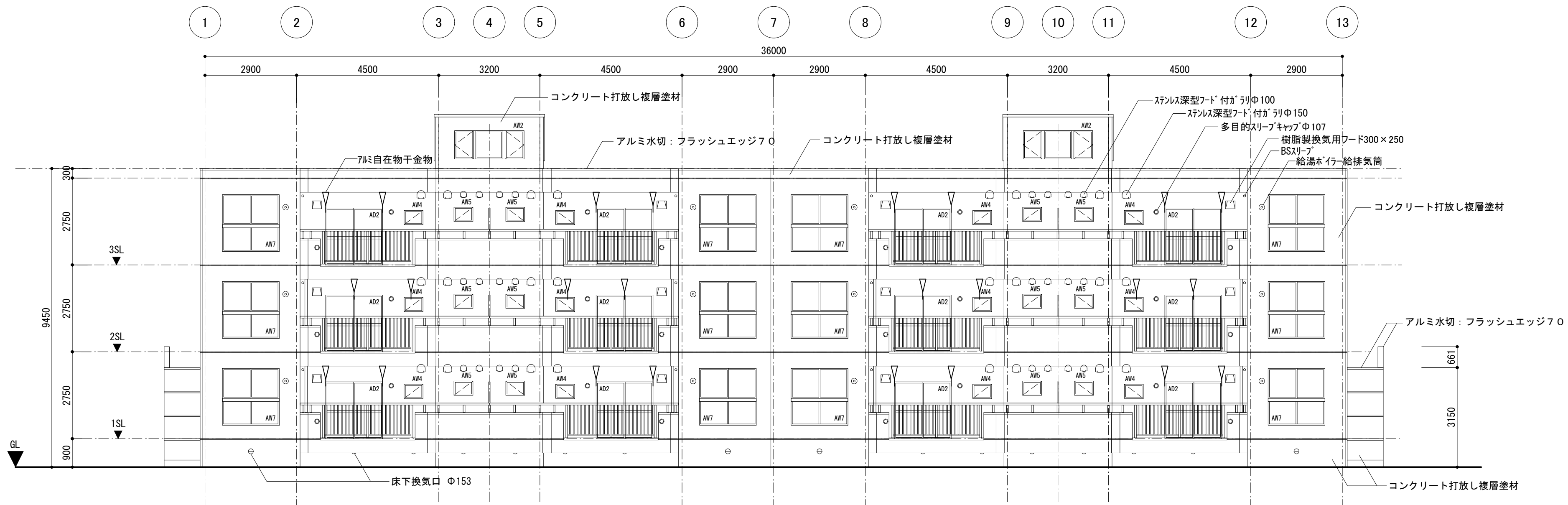
TITLE  
千鳥団地市営住宅 (No.4号棟) 長寿命化改修工事

DRAWING  
屋上階平面図 (改修)

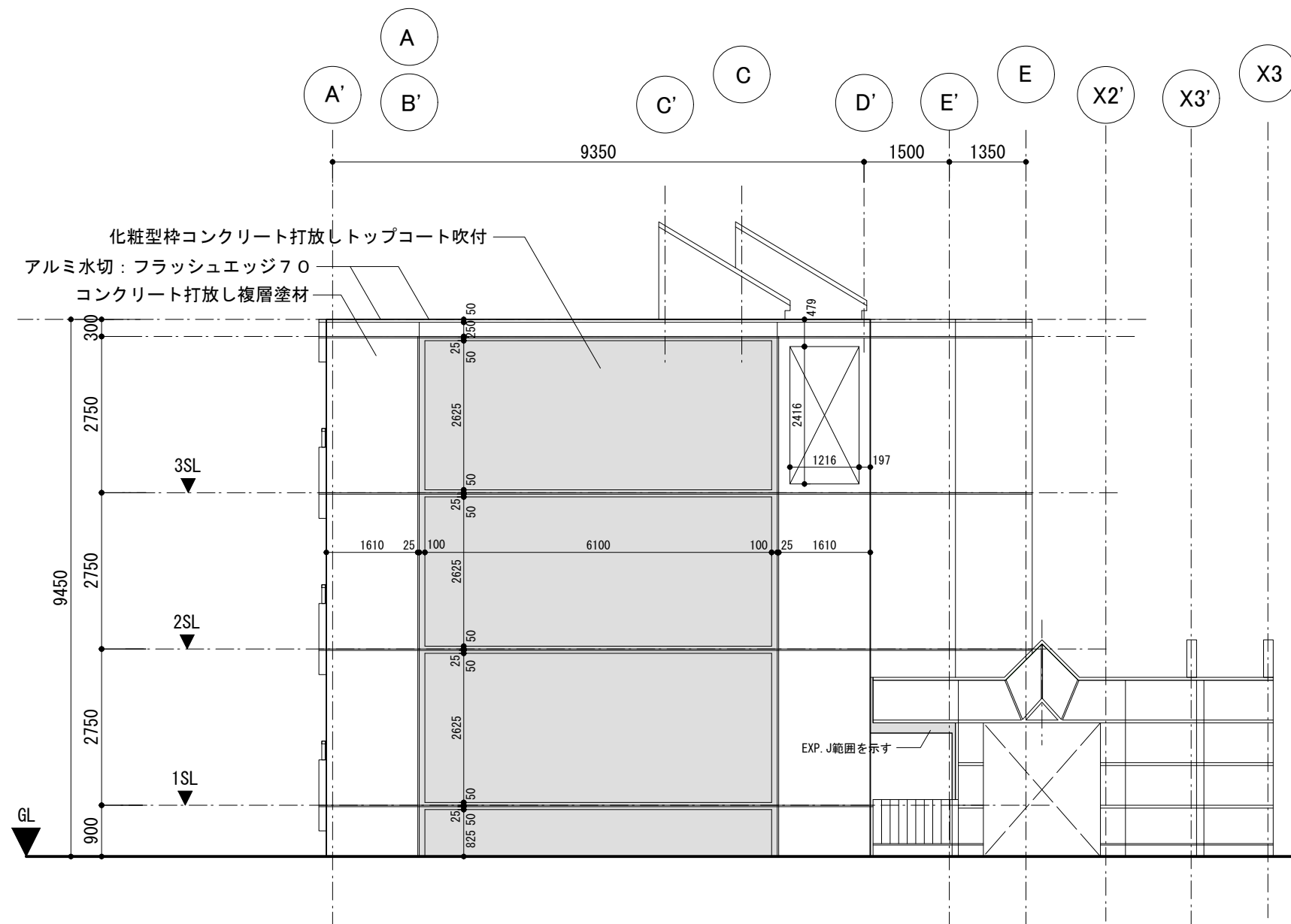
SCALE  
1/100

AMENDMENTS									
処理日									
担当者									
確定日									

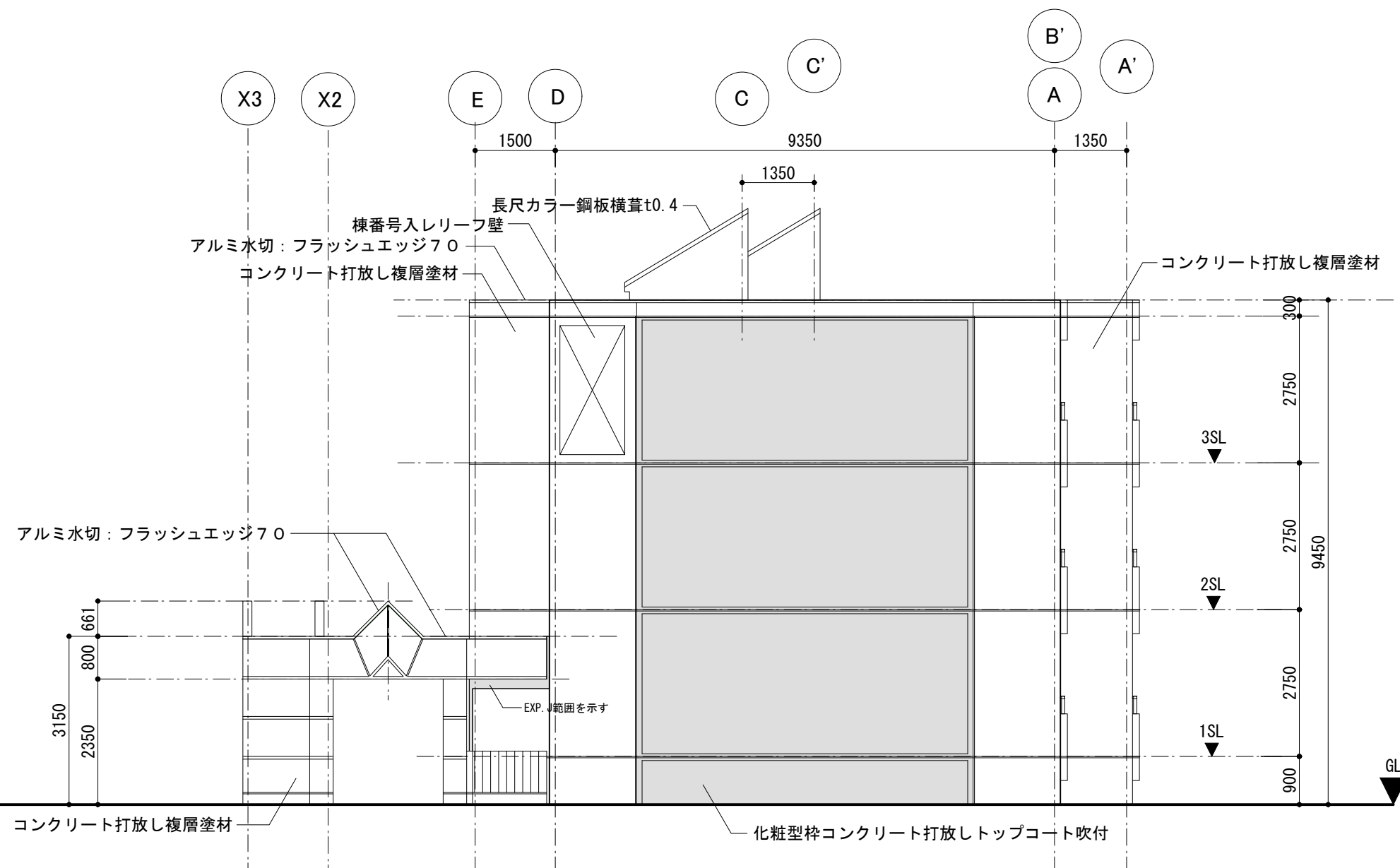
CHECK	設計者	NO.
		A-22



南側立面図 1/100



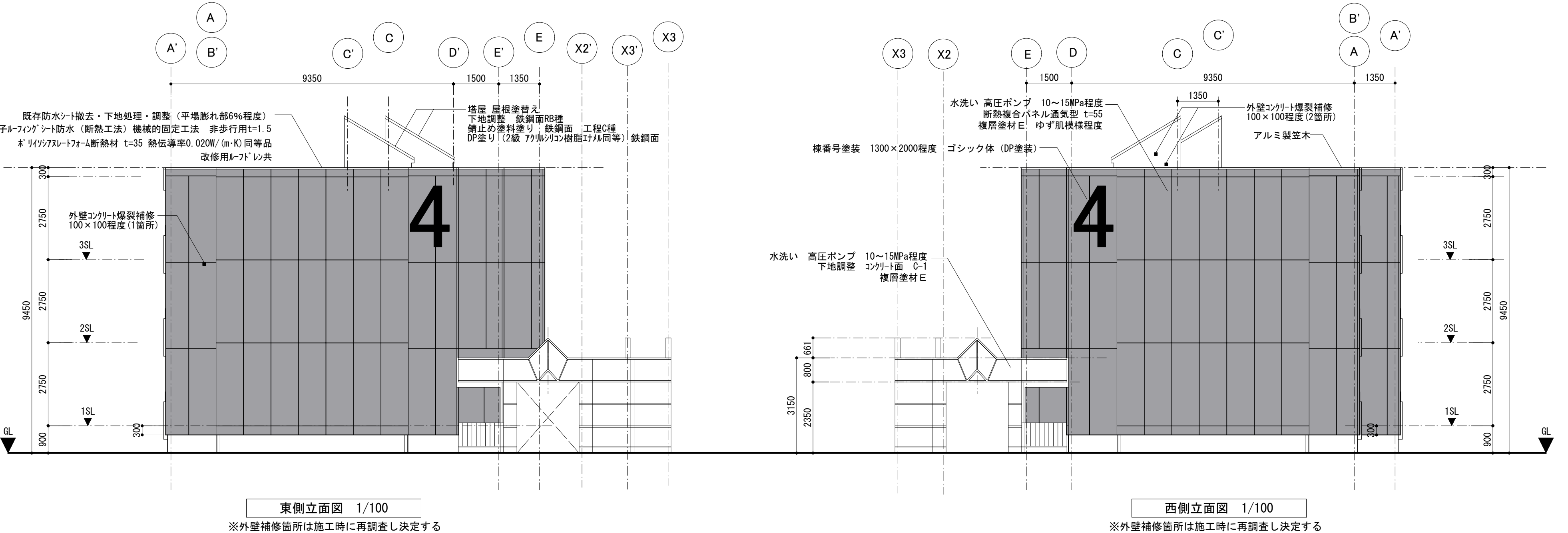
東側立面図 1/100

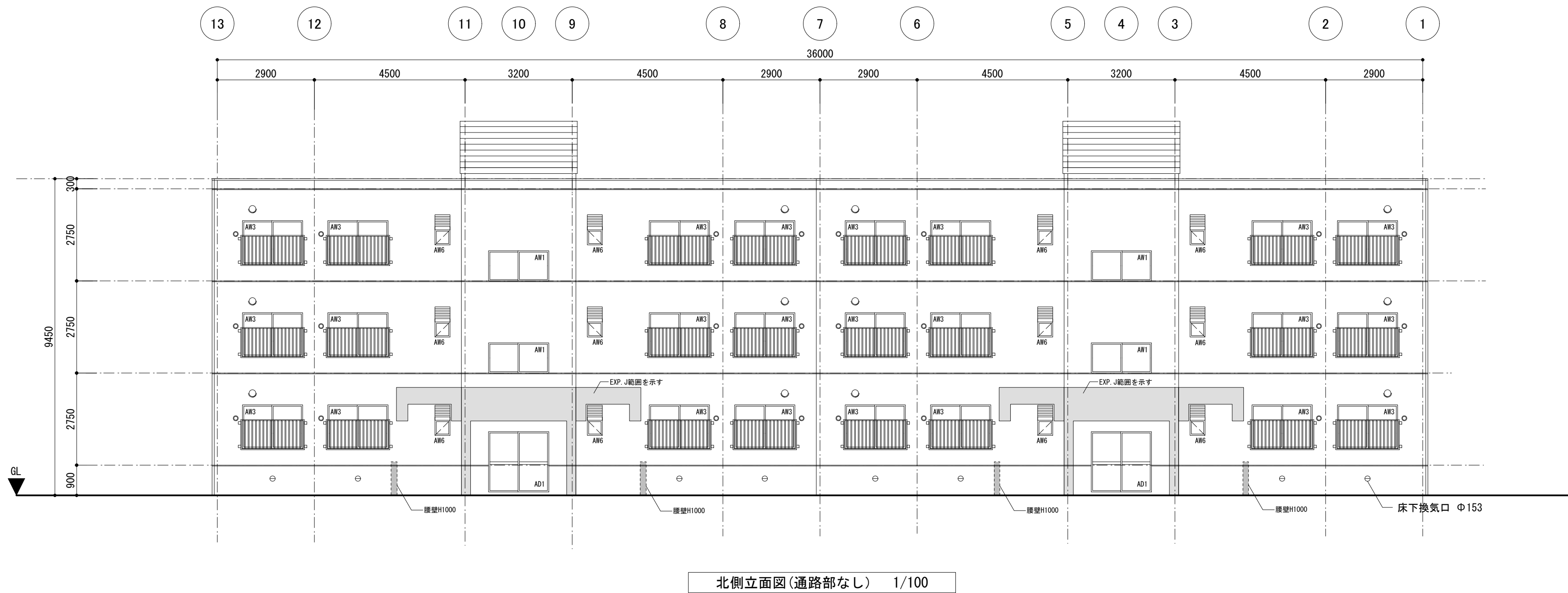
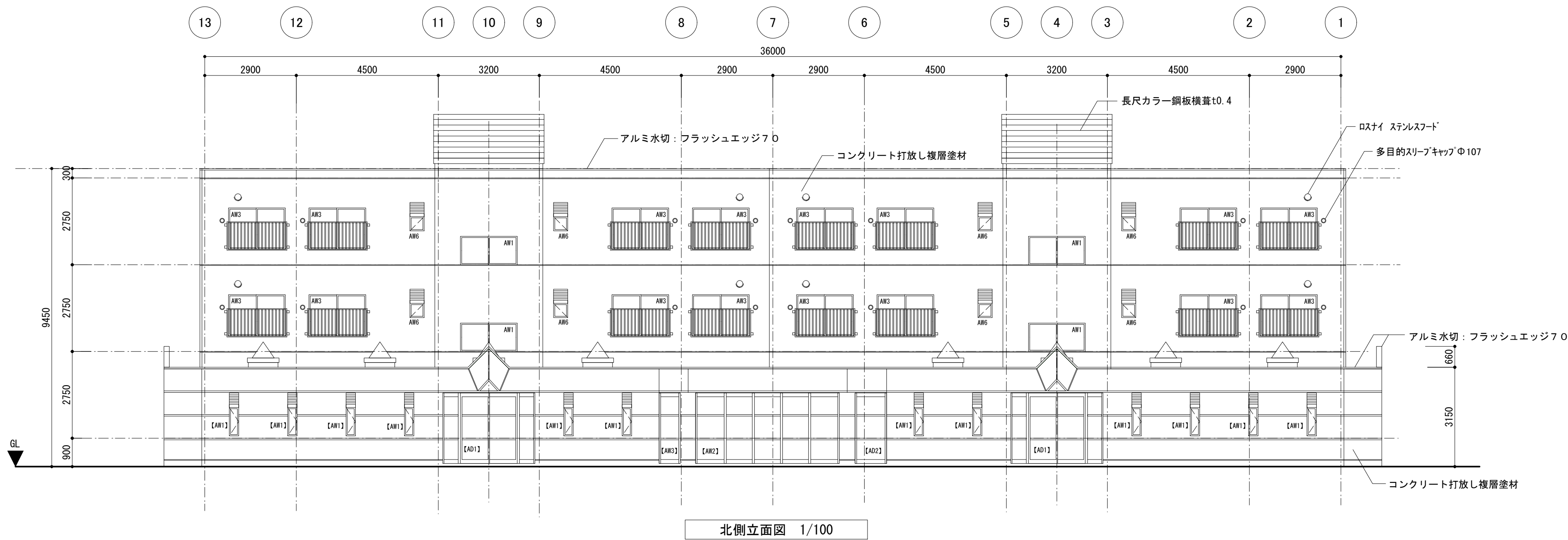


西側立面図 1/100

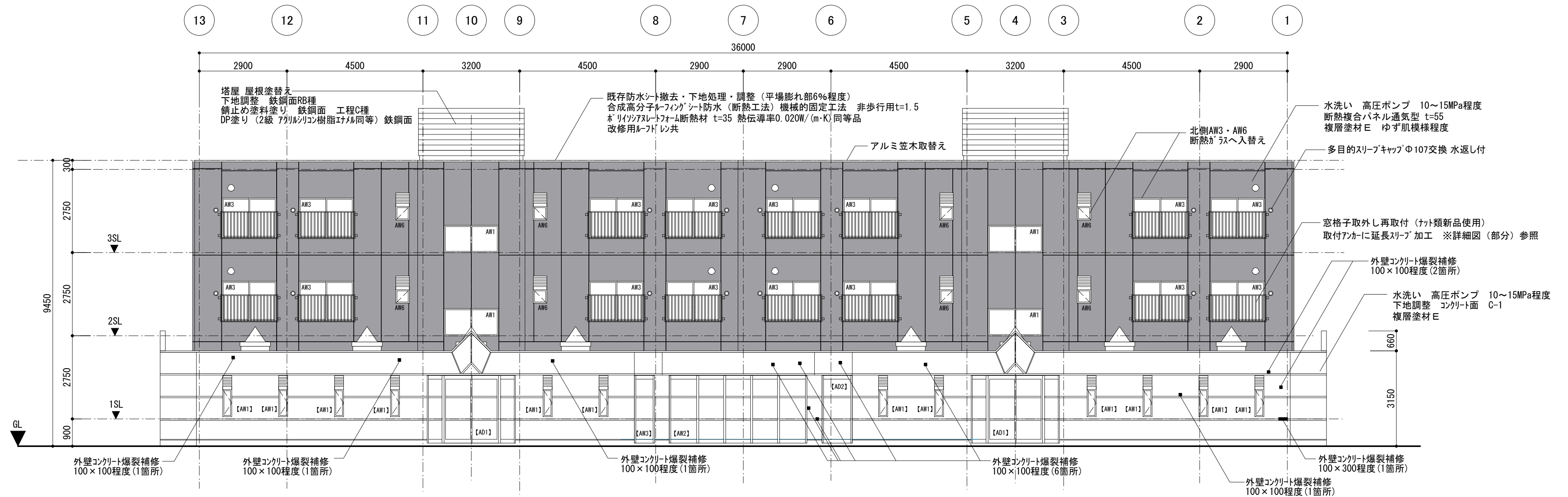










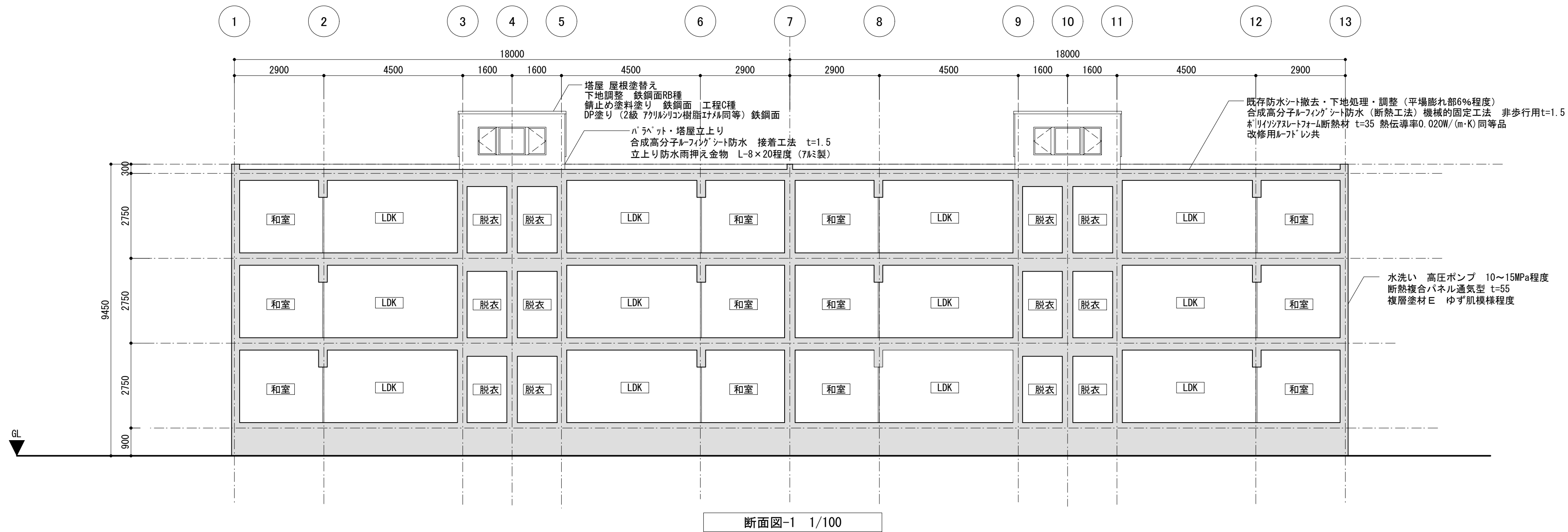


北側立面図 1/100  
※外壁補修箇所は施工時に再調査し決定する

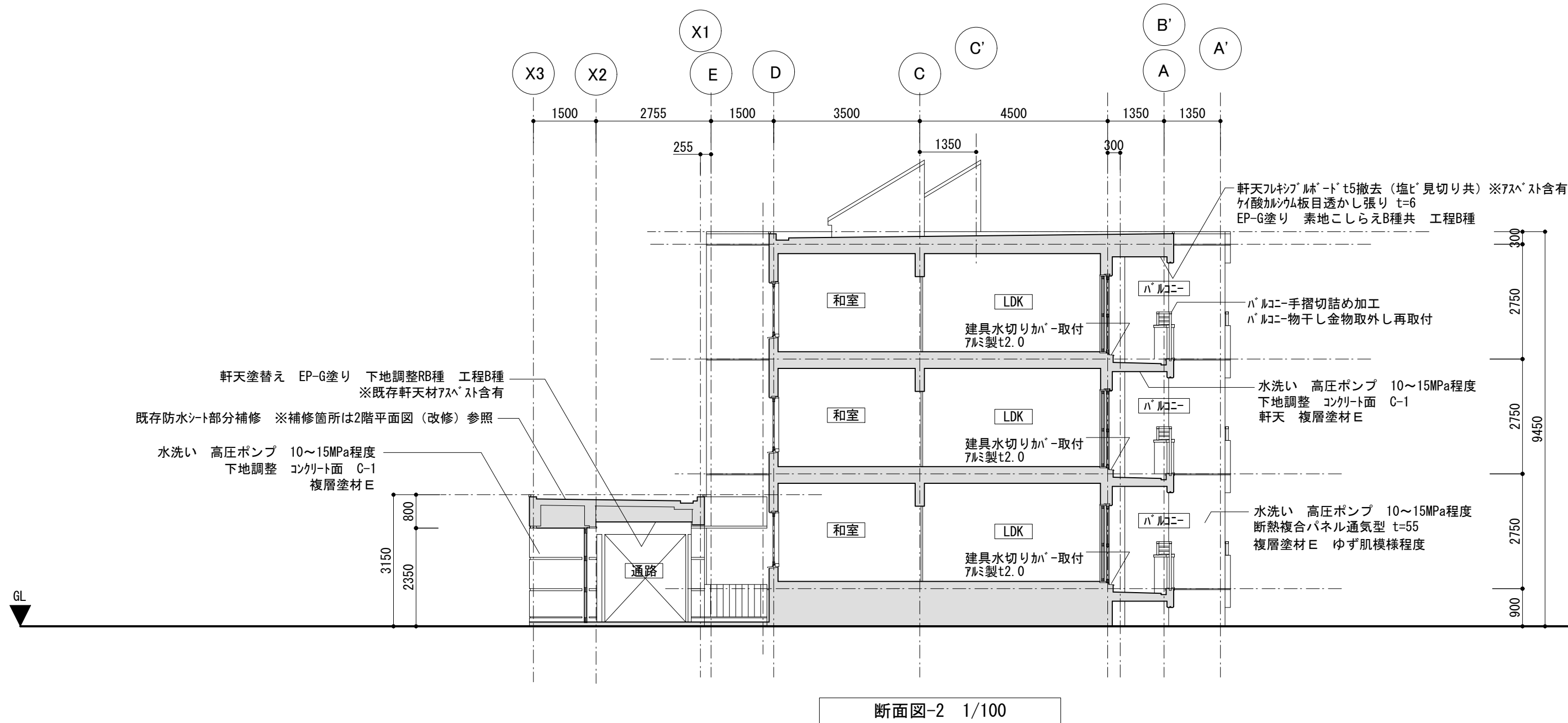


北側立面図(通路部なし) 1/100  
※外壁補修箇所は施工時に再調査し決定する





断面図-1 1/100

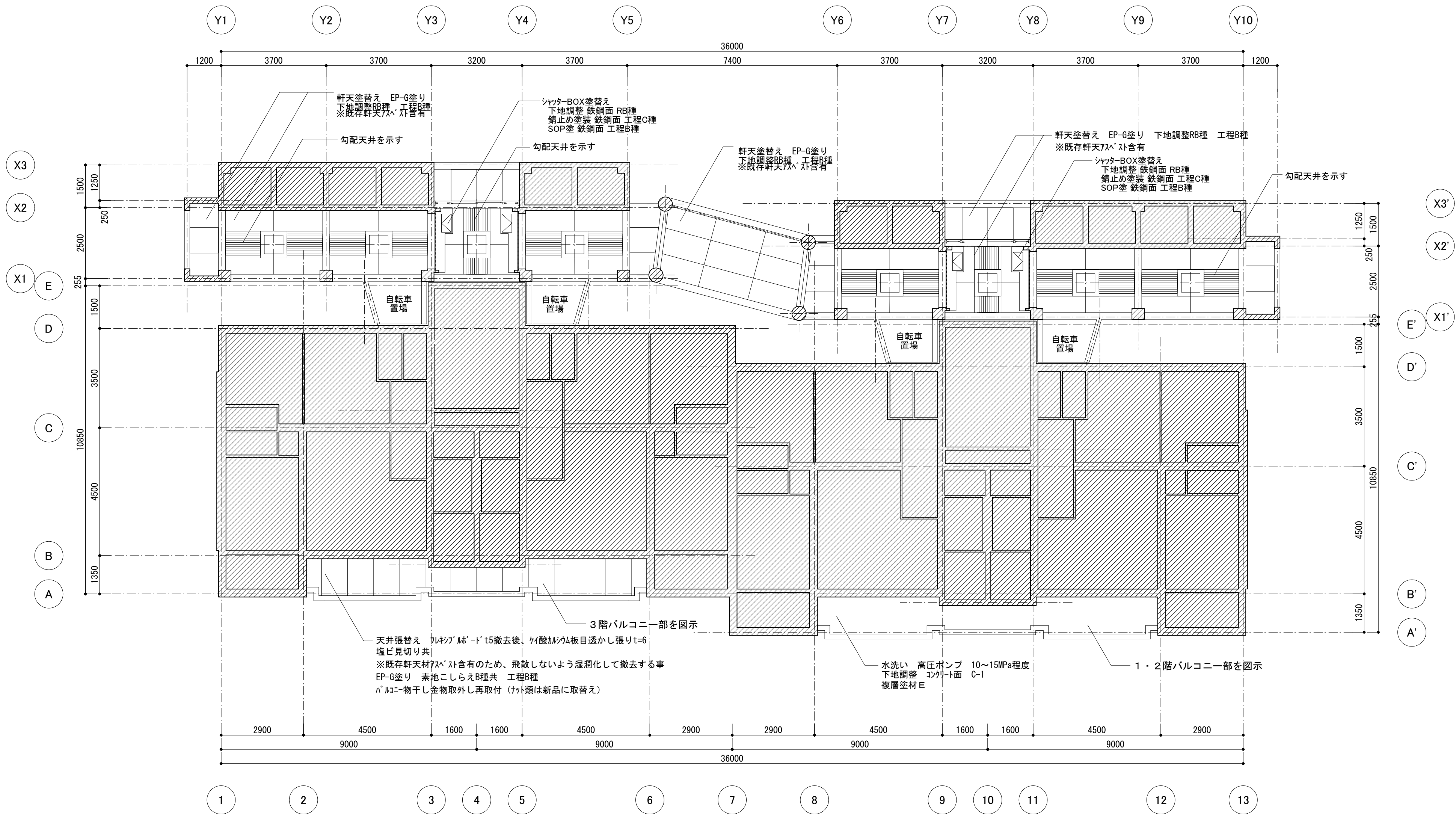


断面図-2 1/100



TITLE	DRAWING	SCALE	AMENDMENTS	CHECK	設計者	NO.
千鳥団地市営住宅(No.4号棟)長寿命化改修工事	断面図	1/100	処理日 担当者 確定日			A-27





1階 天井伏図 1/100

コンクリート面（梁型・自転車置場天井・1・2階バルコニー軒天）改修内容  
※既存コンクリート面下地調整材7スベ'ス含有  
水洗い 高圧ポンプ 10~15MPa程度  
下地調整 コンクリート面 C-1  
仕上げ塗装 複層塗材 E

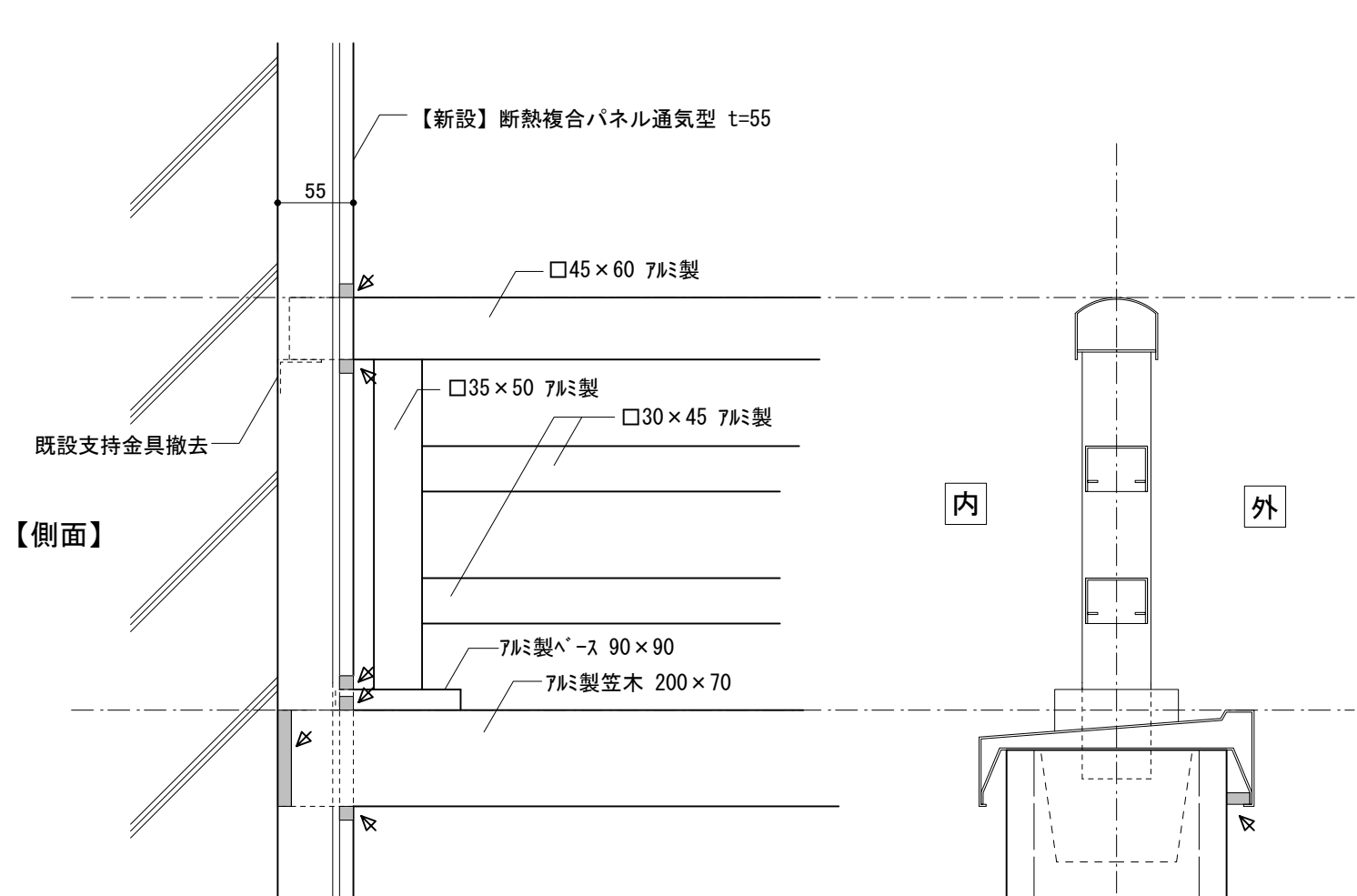
既存共通事項：【既存軒天仕上】F B 5mm (7スベ'ス含有) 目透貼 A P仕上  
【既存コンクリート面】コンクリート打放 下地調整材（7スベ'ス含有）複層塗材仕上

斜線部 … 工事対象外を示す

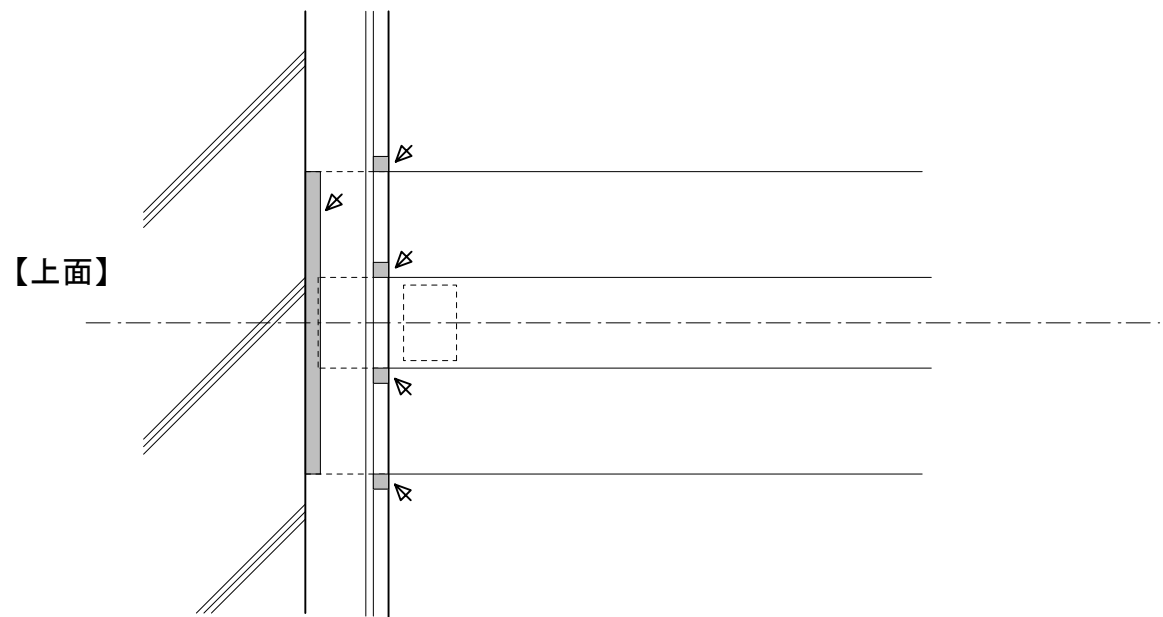




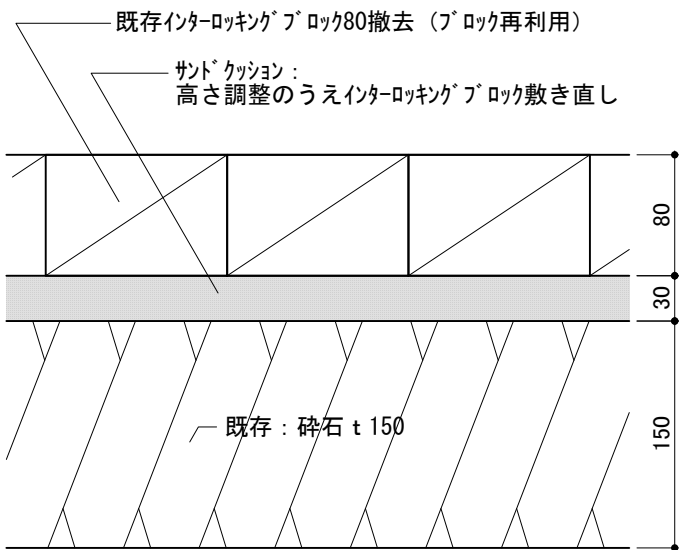




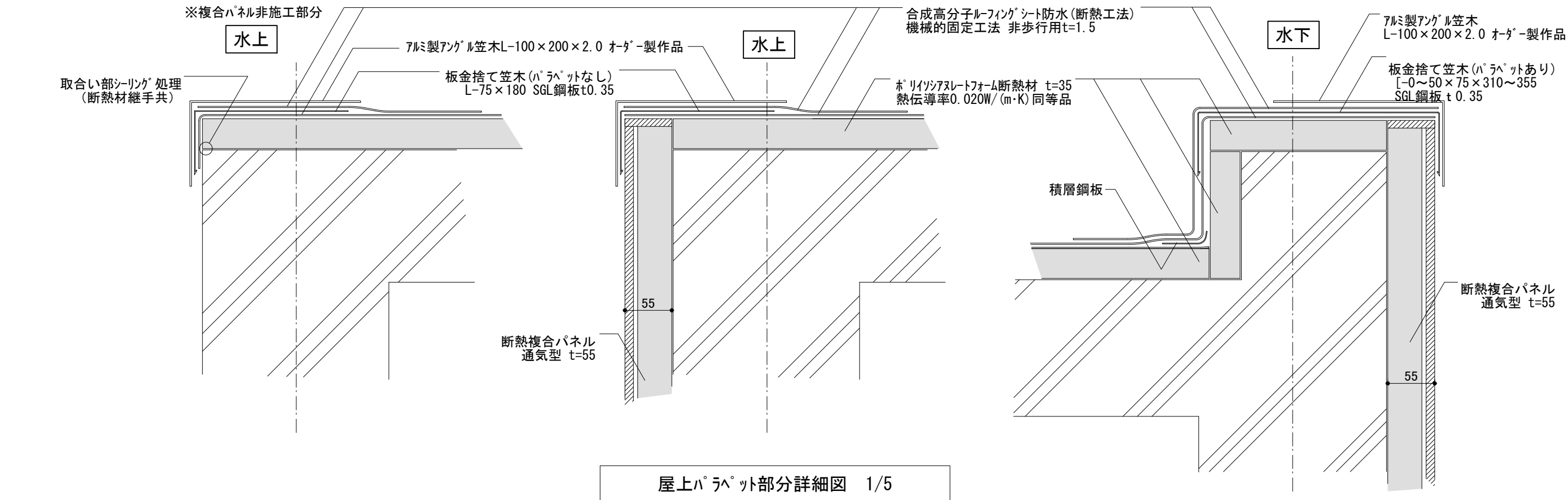
凡例  
シリングMS-2 を示す(新設・打替)



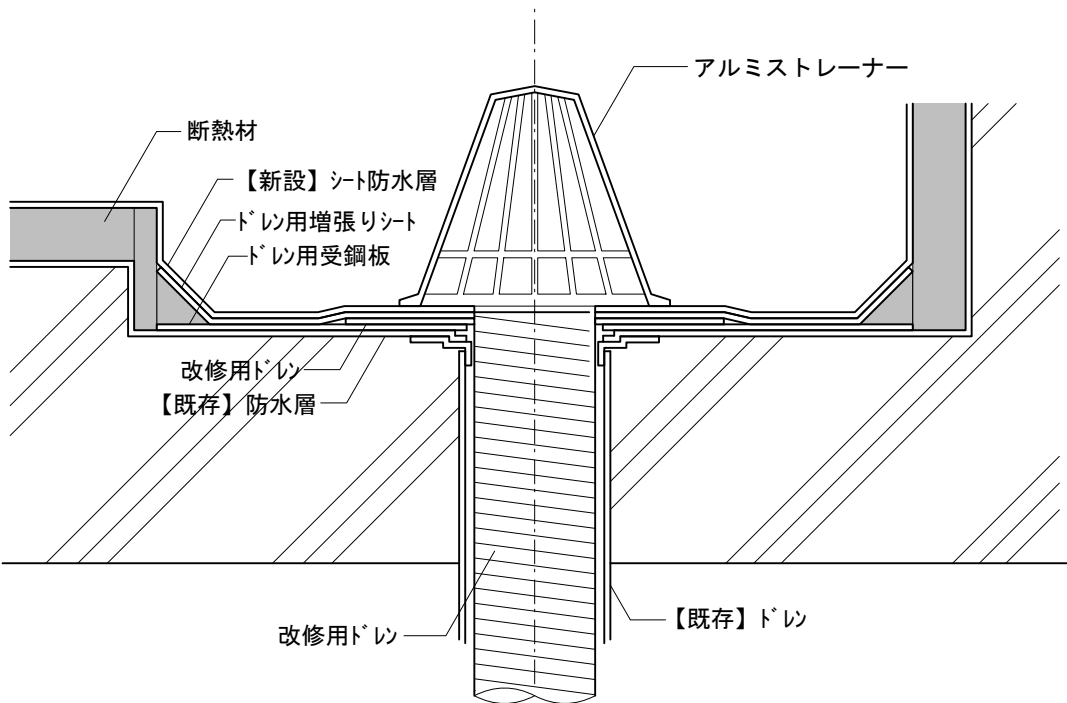
バルコニー手摺笠木部分 詳細図 1/5



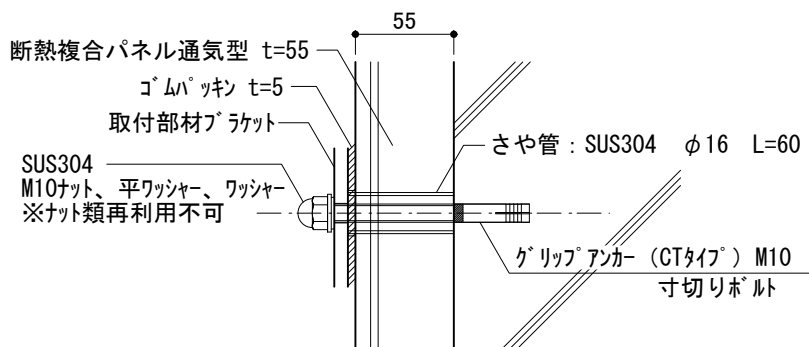
(段差解消) インターロッキング 断面詳細図 1/5



屋上パラペット部分詳細図 1/5

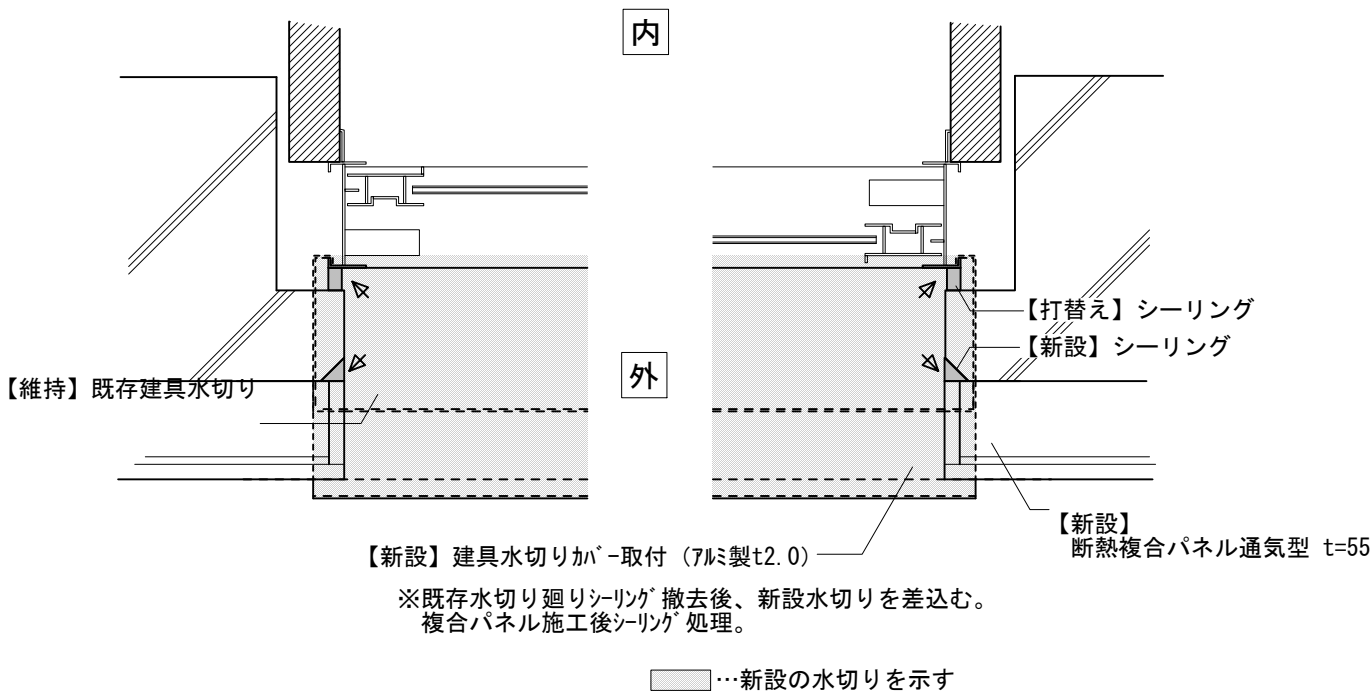


改修用ルーフトレン部分 断面詳細図 1/5

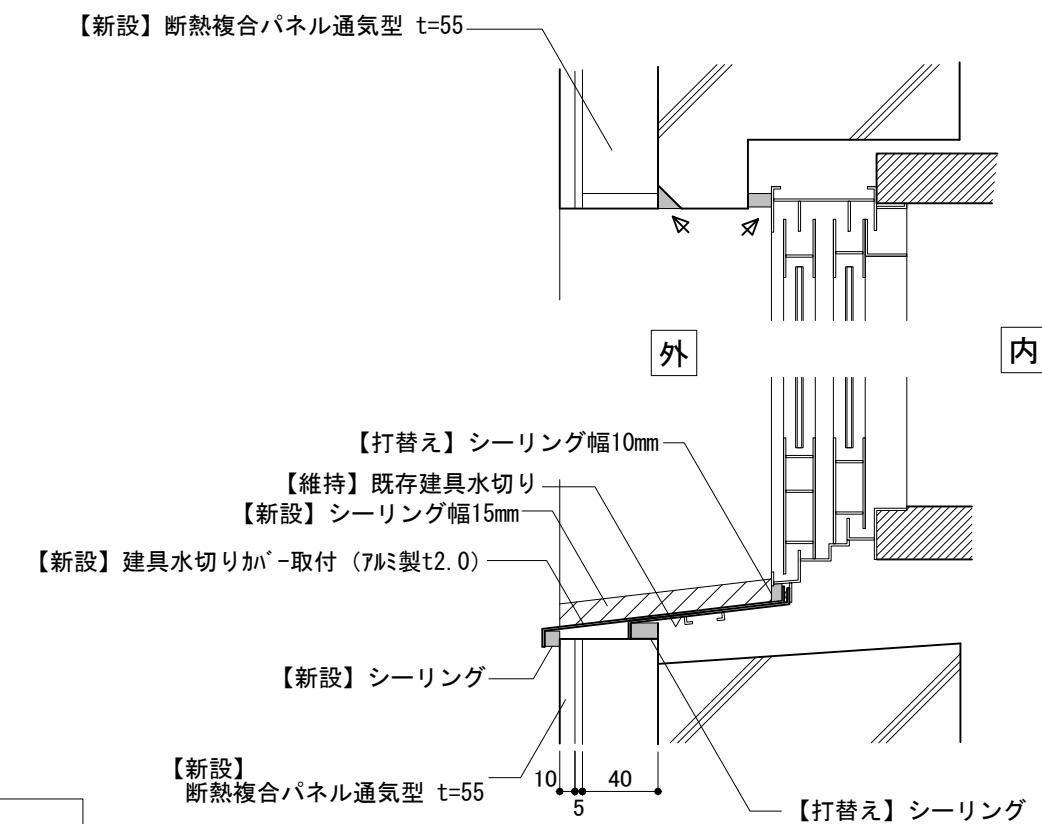


取付アンカー延長スリーブ加工詳細図 1/5

使用箇所…窓格子、配電盤



開口部 断面詳細図 1/5



五所川原市役所  
建設部 建築住宅課

TITLE  
千鳥団地市営住宅(No.4号棟)長寿命化改修工事

DRAWING  
部分詳細図(改修)

SCALE  
1/5

AMENDMENTS  
処理日  
担当者  
確定日

CHECK  
設計者  
NO.  
A-31



千鳥団地市営住宅（No. 4号棟）長寿命化改修工事

特記仕様書（電気設備の部）

I. 工事概要

1. 工事場所

五所川原市大字漢字千鳥 地内

2. 建物概要

建物名称	構造	地上階数	地下階数	延べ面積	建築基準法による区分	消防法施行令別表第一の区分	施設の種類	備考
千鳥団地市営住宅（No. 4号棟）	鉄筋コンクリート造	3階				5項口	一般の施設	

3. 工事種目（●印の付いたものを適用する。）

工事種目	建物別及び屋外			備考
	共同住宅	工 事 種 別	屋 外	
● 電灯設備	改設一式			
○ 動力設備				
○ 電気自動車用充電設備				
○ 電熱設備				
○ 電保護設備				
○ 受変電設備				
○ 電力貯蔵設備				
○ 発電設備				
○ 構内情報通信網設備				
○ 構内交換設備				
○ 情報表示設備				
○ 映像・音響設備				
○ 拡声設備				
○ 誘導支援設備				
● テレビ共同受信設備	改設一式			
○ 監視カメラ設備				
○ 駐車場管制設備				
○ 防火・入退室管理設備				
● 火災報知設備	改設一式			
○ 中央監視制御設備				
○				
● 構内配電線路	改設一式			外灯設備を含む
● 構内通信線路	改設一式			
○				
○				
4. 指定部分	●なし ○あり	範囲：	工期：令和 年 月 日	

II. 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官営補助制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
- 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様

特記事項は、●印の付いたものを適用する。

- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章 項 目

特 記 事 項

一般

共同

通

事

項

1. 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

- 風圧力  
風速（V<sub>0</sub>= ）  
地表面粗度区分（ ）
- 積雪荷重  
建設省告示第1455号における区域別表（ ）

2. 電気工事士

最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。

3. 機材の品質等

（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

（2）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。  
ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。

- ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- ③ 安定的な供給が可能であること。
- ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機 材 名

LED照明器具（一般屋内用に限る。）

照明制御装置

可変速運転用インバータ装置

分電盤

制御盤

キュービクル式配電盤

高圧スイッチギア（CW）

高圧スイッチギア（PW）

高圧交流遮断器

高圧変圧器（特定機器）

高圧進相コンデンサ

高圧限流ヒューズ

高圧負荷開閉器

交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（簡易型）を除く。）

太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）

監視カメラ装置

中央監視制御（監視制御装置）

注\* JIS C 62271-200による高圧スイッチギヤ（図 ～ ）を含む。  
JIS C 62271-200による高圧スイッチギヤの製造業者等は、上記（2）①～⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。  
ただし、JEM1425による高圧スイッチギヤ（CW）/（PW）【\*を付した機材名を記載】について上記（2）①～⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、「①品質及び性能に関する試験データを整備していること。」を除き、証明となる資料等の提出を省略することができる。

（1）本工において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

- ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
- ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
- ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジニール・ブチル酸ジニール・エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
- ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

（1）設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。  
ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。

①設計用水平地震力  
機器の重量〔kN〕に、地域係数(1.0)及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。

機器種別	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	2.0	2.0	2.0	1.5
	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	1.5	1.5	1.5	1.0
	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	1.0	0.6	0.6	0.4
	1.0	1.0	1.0	0.6
	1.5	1.0	1.0	0.6

- ・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
- ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
- ・水槽類には燃料小出タンクを含む。

重要機器は次のものを示す。

- 配電盤
- 発電装置（防災用）
- 直流電源装置
- 交流無停電電源装置
- 交換装置
- 自動火災報知受信機
- 中央監視制御装置
-

②設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

（2）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

（3）1kNを超える機器のアンカー類については耐震支持に対する計画書を提出する。

7. 石綿含有製品調査

イ）撤去機器、器具等について石綿含有製品調査を行い、監督職員に報告する。  
調査範囲（○ ）  
調査方法（○ 型番確認の上、製造者より○ ）  
ロ）下記の石綿含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。  
なお、調査にかかる費用は、○ 本工事 ○ 別途 とする。  
○  
※ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。  
○ 本工事で設置する。（○ 図参照）  
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行  
○ 材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2.2.1 表2.2.1による。）  
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種  
○ 仮設間仕切り  
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種  
○ 既設部分の養生  
○ 行う（○ ビニルシート等 ○ ）  
○ 行わない  
50Hz  
はつり工及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。  
また、金属探知により電源供給の停止ができる附属装置を使用する。  
イ）放射線透過検査等による埋設物の調査  
○ 範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。  
イ）あと施工アンカー 接着系アンカー（ 接着剤（有機系））  
金属抵張系アンカー（ 本体打込み式 ）  
性能確認試験 ○ 行う ※ 行わない  
施工後確認試験 ○ 行う ※ 行わない  
機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は既存仕上げと同等の補修とする。  
施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に復旧する。  
イ）屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。  
ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダ alunナットとする。  
● 下記壁類の改造等は、製造者等による作業とする。  
○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電盤 ○  
○ 盤類の改造前と改造後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。  
● 盤類の工事完了後に、単線絡線図の更新を行う。  
各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。

- 照明制御装置
- 受変電設備
- 電力貯蔵設備
- 発電設備
- 駐車場管制設備
- 防火・入退室管理設備
- 中央監視制御設備
- 

新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。  
EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。  
屋外でEM-高圧架橋ポリエチレンケーブル相互の接続又は端末処理を行う場合は、端部にシュリンクバック対策を施す。  
屋外、及び地下ピットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき（めっき付重量300g/m以上）」仕上げとする。  
合成樹脂製可とう管はPFF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。  
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。  
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。  
● 金属製（ステンレス、新金属も含む） ○ 樹脂製  
○ アルミ製 ○ 鋁合金製  
水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。  
外部ネットワークと接続する制御システム  
○ あり（対象設備 ○ 受変電設備 ○ 構内情報通信網設備 ○ ）  
○ なし  
外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策  
○ ファイアウォール ○ 統合脅威管理(UTM)  
盤・キャビネットの錠の鍵  
○ 製造者の標準鍵  
○ 鍵の指定あり  
対策機器（○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ キュービクル ○ 端子盤 ○ 通信キャビネット ○ ）  
図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。  
● キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ  
※ 製造者の標準色仕上げとする。  
● 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。

- 屋外 ○ 屋内（○ ○ ）
- 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。（○ 居室 ○ ○ ）

  
図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。  
外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。

9. 機器取付高さ

29. 保温、結露防止

30. 呼び線

31. 本受電後の基本料金

各

1. タンブラースイッチ

2. OAフロア用配線器具の蓋

3. ハンズフリー用OAスイッチ

4. 人感センサ用プレート

5. ターミナル付リコリラー

6. LED照明器具

7. 一般照明の照度測定

8. 分電盤

9. 制御盤

長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。  
○ 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）  
○ 計上しない  
ネーム付きとする。  
○ アルミ製 ○ 樹脂製  
特記の無いハンズフリー用OAスイッチは次の仕様とする。  
2P15A（接地極付抜き形）×4-3m（7ヶ付）通電表示灯付  
照明の人感センサ制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。  
材質：アクリル 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度  
参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」  
注意プレート設置室：○ 便 所（計 枚）○ （計 枚）  
天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。  
ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。  
LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形(LN)」とする。  
照度測定箇所は監督職員との協議による。  
○ 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E, 200V2P2E)とする。  
○ 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（PF22）を1本、5個以上の場合（PF22）を2本、天井まで立てる。  
配管バンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。

表1「接地極一覧表」  
接地極の種類は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設様は不要とする。

接地極の種類	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
○ 電線用接地	ELA	○ 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ 電線用接地	ELA	○ 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ 共同接地	EAE、ELH	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ 共同接地	EAE、ELH	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ A種接地	EAA	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ B種接地	EAB	○ 以下	EB (D=14又はW=40) × 2
○ C種接地	EAC	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ D種接地	EAD	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 1
○ 漏電遮断器回路	EEL	500Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 1
○ 構内交換設備用接地	EEL	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ 本館設備の保安装置	EEL	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ 電話引込口の保安装置	EEL	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 1
○ アンテナ保安装置	EEL	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 1
○ 拡声増音器	EEL	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 1
○ 防火装置用	ES	○ 以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○			
○ 測定用補助接地極	EEL	—	EB (D=10又はW=30) × 1
○ 避雷器用（低圧用）	ELL	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ 避雷器用（高圧用）	ELH	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3 連
○ 避雷器用（モデム用）	ELM	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 1

表2「機器取付高さ」

機 器	測 点	取付高 (mm)
複算用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200
分電盤	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
スイッチ（ハット付）	床上～中心	1,100
スイッチ（和室）	床上～中心	1,200
スイッチ（一般）	床上～中心	300
スイッチ（和室）	床上～中心	150
スイッチ（台所）	床上～中心	150～200
スイッチ（廊下）	床上～中心	800～1,000
スイッチ（車庫）	床上～中心	1,300
スイッチ（機械室）	床上～中心	500～1,000
スイッチ（屋外）	地上～中心	1,000～1,300
アラーム（一般）	床上～中心	2,100～2,300
アラーム（通話）	床上～中心	2,000～2,500
アラーム（通話）	地上端～中心	150
壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)
開閉器箱	床上～中心	1,500
制御用スイッチ	床上～中心	1,300
試験用接地端子箱	床上～下端	800
壁・キャビネットの錠の鍵		
製造者の標準鍵		
鍵の指定あり		
対策機器（○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ キュービクル ○ 端子盤 ○ 通信キャビネット ○ ）		
図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。		
● キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ		
※ 製造者の標準色仕上げとする。		
● 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。		
● 屋外 ○ 屋内（○ ○ ）		
○ 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。（○ 居室 ○ ○ ）		
図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。		
外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。		

備考）天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

五所川原市役所

建設部 建築住宅課

TITLE

DRAWING

SCALE

AMENDMENTS

CHECK

設計者

NO.

千鳥団地市営住宅（No.4号棟）長寿命化改修工事

電気設備 特記仕様書

Non

処理日

担当者

確定日

E-01

章	項 目	特 記 事 項													
一般共通事項	○再使用機材・養生 ○環境に配慮した電線	○ 指定機材（ ） ○ 特別清掃（ ）  LAN用ツイストペアケーブルは、下記による。 <table><tr><th>記 号</th><th>仕 様</th></tr><tr><td>EM-UTPケーブル</td><td>JCS5503 耐燃性*リチウムイオン LAN用ツイストペアケーブル</td></tr><tr><td>(EM-UTP5E)</td><td>耐燃性*リチウムイオン 5e UTPケーブル (ECO-UTP-CAT5E/F)</td></tr><tr><td>(EM-UTP6)</td><td>耐燃性*リチウムイオン 6 UTPケーブル (ECO-UTP-CAT6/F)</td></tr><tr><td>(EM-UTP6A)</td><td>耐燃性*リチウムイオン 6A UTPケーブル (ECO-UTP-CAT6A/F)</td></tr><tr><td>(EM-F/UTP6A)</td><td>耐燃性*リチウムイオン 6A F/UTPケーブル (ECO-F/UTP-CAT6A/F)</td></tr></table>	記 号	仕 様	EM-UTPケーブル	JCS5503 耐燃性*リチウムイオン LAN用ツイストペアケーブル	(EM-UTP5E)	耐燃性*リチウムイオン 5e UTPケーブル (ECO-UTP-CAT5E/F)	(EM-UTP6)	耐燃性*リチウムイオン 6 UTPケーブル (ECO-UTP-CAT6/F)	(EM-UTP6A)	耐燃性*リチウムイオン 6A UTPケーブル (ECO-UTP-CAT6A/F)	(EM-F/UTP6A)	耐燃性*リチウムイオン 6A F/UTPケーブル (ECO-F/UTP-CAT6A/F)	○電気方式 高圧：三相 3線式 6kV 低圧：三相 3線式 200V 低圧：単相 3線式 100V/200V
	記 号	仕 様													
EM-UTPケーブル	JCS5503 耐燃性*リチウムイオン LAN用ツイストペアケーブル														
(EM-UTP5E)	耐燃性*リチウムイオン 5e UTPケーブル (ECO-UTP-CAT5E/F)														
(EM-UTP6)	耐燃性*リチウムイオン 6 UTPケーブル (ECO-UTP-CAT6/F)														
(EM-UTP6A)	耐燃性*リチウムイオン 6A UTPケーブル (ECO-UTP-CAT6A/F)														
(EM-F/UTP6A)	耐燃性*リチウムイオン 6A F/UTPケーブル (ECO-F/UTP-CAT6A/F)														
電力灯設備	●電気方式 ○連続調光形LEDとする室名等 ○誘導灯 ●非常用照明器具 ○ハイテンションアウトレット	幹線：単相 3線式 200/100V 分岐：単相 2線式 200V 分岐：単相 2線式 100V  室名（ ）  ○ 電池内蔵形 ○ 電池別置形 ● 電池内蔵形 ○ 電池別置形  ○ 飛び出し形 ○ 外部固定形 ○ 銅合金形 ○ アルミ製	○配電盤 ●屋内用 ○ 屋外用（材質：●銅板 ○ ステンレス） ●キュービクル式配電盤 ○ 高圧スイッチギア  ○主遮断装置 ●限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF-S） ○ 高圧交流遮断器（CB） 定格遮断電流 kA以上  ○設備容量 変圧器総容量： kVA  ○変圧器 ○ 油入（●屋外キュービクル ○ ） ○ モールド（○ ）  ○進相用コンデンサ ○ 高圧 ○ 低圧  ○自動力率制御装置 ●無効電力検出方式 ○ 力率検出方式												
	○電気方式 ○警報盤 ○電磁開閉器用押扣 ○機器への接続 ○電動機等の接地 ○総合動作試験	幹線：三相 3線式 200V 分岐：三相 3線式 200V  ● 壁掛式（電源装置 ●内蔵 ○別置） ● 埋込運用形配線器具 ○  電動機等への接続は本工事とする。  図示以外は金属管接地とする。  ○ 無 ○ 有（ ）	○形式 ○ 簡易形 ○ キュービクル式 ○ オープン形  ○発電機 電気方式：三相3線式 50Hz 電圧： V 定格出力： kVA  ○原動機 形式：○ディーゼル ○ ガスタービン ○ マイクロガスタービン ○ ガスエンジン 定格出力： kW(PS)以上 定格出力： kVA 方式等： 始動方式 ○ 電気方式 ○ 空気式 冷却方式 ○ ラジエータ式 ○ 水冷循環式 冷却水 ○ 不凍液を混合した水道水 ○ 水道水  ○排気系統配管 断熱材：○ロックウール ○ 厚さ等：○ 75mm ○  ○燃料 種類：○軽油 ○ 灯油 ○ A重油 ○ 燃料ガス（●燃料小出槽 リットル） 主貯油槽（地下）：○なし ○あり（○別途 ○本工事）  ○太陽光発電装置 太陽電池アレイ公称電力： kW パワーコンディショナ 電気方式： 相 線式 交流出力電圧： V 定格出力： kW												
電熱設備	○電気方式 ○発熱線 ○施工場所及び面積	幹線： 相 線式 V 分岐： 相 線式 V  ● 第2種 ○ 第4種  ○ 表玄関ポーチ 約 m ○ 約 m ○ 約 m	○形式 ○ 簡易形 ○ キュービクル式 ○ オープン形  ○発電機 電気方式：三相3線式 50Hz 電圧： V 定格出力： kVA  ○原動機 形式：○ディーゼル ○ ガスタービン ○ マイクロガスタービン ○ ガスエンジン 定格出力： kW(PS)以上 定格出力： kVA 方式等： 始動方式 ○ 電気方式 ○ 空気式 冷却方式 ○ ラジエータ式 ○ 水冷循環式 冷却水 ○ 不凍液を混合した水道水 ○ 水道水  ○排気系統配管 断熱材：○ロックウール ○ 厚さ等：○ 75mm ○  ○燃料 種類：○軽油 ○ 灯油 ○ A重油 ○ 燃料ガス（●燃料小出槽 リットル） 主貯油槽（地下）：○なし ○あり（○別途 ○本工事）  ○太陽光発電装置 太陽電池アレイ公称電力： kW パワーコンディショナ 電気方式： 相 線式 交流出力電圧： V 定格出力： kW												
	雷保護設備	○保護レベル ○受雷部 ○避雷導線 ○接地極	○ I ○ II ○ III ○ IV  ○ 突針 ○ 水平導体 ○ メッシュ導体 ○ 構造体利用（ ）  ● 建築構造体利用 ○ 引下げ導線 ● 建築構造体利用 ○ 接地極埋設	○電話交換機 形式：○電子交換 ○ ボタン電話装置 ○ PBX ○ VoIP 回線数：○内線 / 回線 ○ 局線 / 回線 ○ 専用データ（ 回線） ○ 主装置等の撤去（支障時の取り扱い： ）  ○電話機 ○ 本工事 ○ 別途工事 ○ ボタン電話機 ○ 多機能電話機 ○ 内線電話機 ○ デジタルコードレス電話機  ○電話機への配線 電話機1台につき、次のものを見込む。 ○ EM-TIEF0.65-2C（○ 20m ○ m） ○ EM-BTIEE0.4-2P（○ 20m ○ m）  ○ローテーション アウトレット ● 一般電話用 個（○納入する ○取付ける） ● 銅合金製 ○ アルミ製  ○保安器用接地 ○ 本工事 ○ 別途工事											

情報表示・拡声その他通信設備	○構内情報通信網設備 ○拡声設備 ○映像・音響設備 ○情報表示設備 ○誘導支援設備 ●テレビ共同受信設備 ○監視カメラ設備 ○駐車場管制設備 ○防犯・入退室管理設備	○イーサネット（方式： ） ○無線LAN（方式： ）  ○増幅器： ○卓上形 ○キャビネットラック形 ○一般用 ○非常用 ○併用  ○増幅器： ○レコーダー： ○8時間以上録画又は録音のできる記憶容量 ○時間以上 ○プロジェクタ： ○前面投写式 ○背面投写式 ○スクリーンサイズ： インチ  ○出退表示盤： ○多線直接式 ○パルス伝送式 ○親時計： 回線 ○時刻補正： ○標準電波方式 ○FMラジオ方式 ○GPS方式 ○壁掛式 ○自立形 ○電子式チャイム組込み ○プログラムタイマー組込み  ○庁舎内連絡用 ○身体障害者用 ○夜間受付用 ○エレベーター用  ●テレビアンテナ： ●AU-I ○CSBSA- ○CSA- ○地上波アンテナマスト： ○壁面取付形 ○自立形 ○BS・CS用アンテナマスト： ○壁面(手すり)取付形 ○自立形 ○工事着手前アンテナの設置予定位置における電界強度等の調査測定をし、受像の可否を判定した報告書を提出する。  ○白黒方式 ○カラー方式 ○ネットワーク接続方式 ○専用回線方式  ○検知器： ○光線式 ○ループコイル式  接地工事： ○本工事 ○別途工事 時刻補正： ○親時計 ○時刻補正装置	●工事範囲 ●電気方式 ●配管路（材質） ●敷設方法 ○標識シートの埋設 ○柱上機器  ○高圧ケーブルの端末処理 ●外灯設備 ●その他	●管路 ●配線類 高圧：三相 線式 V 低圧：三相 線式 V 低圧：単相 3線式 200V  ○ PLP ● G ● FEP ○ PE ○ GLP ○ GLT  ● 地中埋設式 ○ 架空線式  ○ 低圧 ○ 高圧 ○ 特別高圧  ○ 高圧負荷開閉器： ○ 一般用 ○ 耐重塩じん用 ○ 地絡継電器付（○方向性 ○無方向性） ○ 避雷器： ○ 一般用 ○ 耐塩用 ○ 高圧カットアウト、碍子等： ○ 一般用 ○ 耐塩用  屋外側： ○ 一般用 ○ 耐塩用  ● 定格電圧： 200V ● ポール内には、防水型漏電遮断器を設ける。  東北電力(株)外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	自動火災報知設備	○自動火災報知装置 ○非常警報装置 ●自動閉鎖装置  ○ガス漏れ警報装置	○受信機： 型 級 回線 ○壁掛形 ○自立形 ○単独 ○複合盤（自火報 回線、自動閉鎖 回線、ガス漏れ警報 回線）  ○副受信機： 回線 ○機器収容箱： ○専用形（○埋込形 ○露出形） ○屋内消火栓箱に組込み  ○埋込形 ○露出形 緊急地震放送： ○行わない ○行う  ●連動制御器 3回線（遠方復帰機構： 回線） ●単独（●壁掛形 ○自立形） ○自火報受信機等との複合盤 ●自動閉鎖機構 ○防火戸用（本工事、電磁式又はラッチ式、DC24V、0.6A以下） ○防煙ダンパ用（別途工事、瞬時通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、遠方復帰機構（電動式）、DC24V、0.7A以下） ●防火シャッター用（別途工事、DC24V、0.6A以下） ○自動開放機構 ○排煙ダンパ（別途工事、排煙機運転転用連動機構付）  ○受信機： 型 回線（○都市ガス用 ○液化石油ガス用） ○単独（○壁掛型 ○自立形） ○自火報受信機等との複合盤	●工事範囲 ●用途 ●配管路（材質） ○敷設方法
中央監視制御設備	○監視制御対象設備 ○監視操作装置 ○監視制御装置	○動力設備 ○受変電設備 ○自家発電設備 ○火災報知設備  ○空調 ○衛生  ○Ⅰ型 ○Ⅱ型 ○Ⅲ型 ○壁掛式 ○自立形 組込み機器： ○グラフィックパネル ○表示装置 ○キーボード  構成機器： ○グラフィックパネル ○モザイクパネル ○合成樹脂パネル ○ディスプレイ： ●内照式液晶方式 ○タッチパネル式の内照式液晶方式 ○17型 ○19型 ○21型 ○記録装置  ○信号処理装置 ○補助盤 ○電源装置		

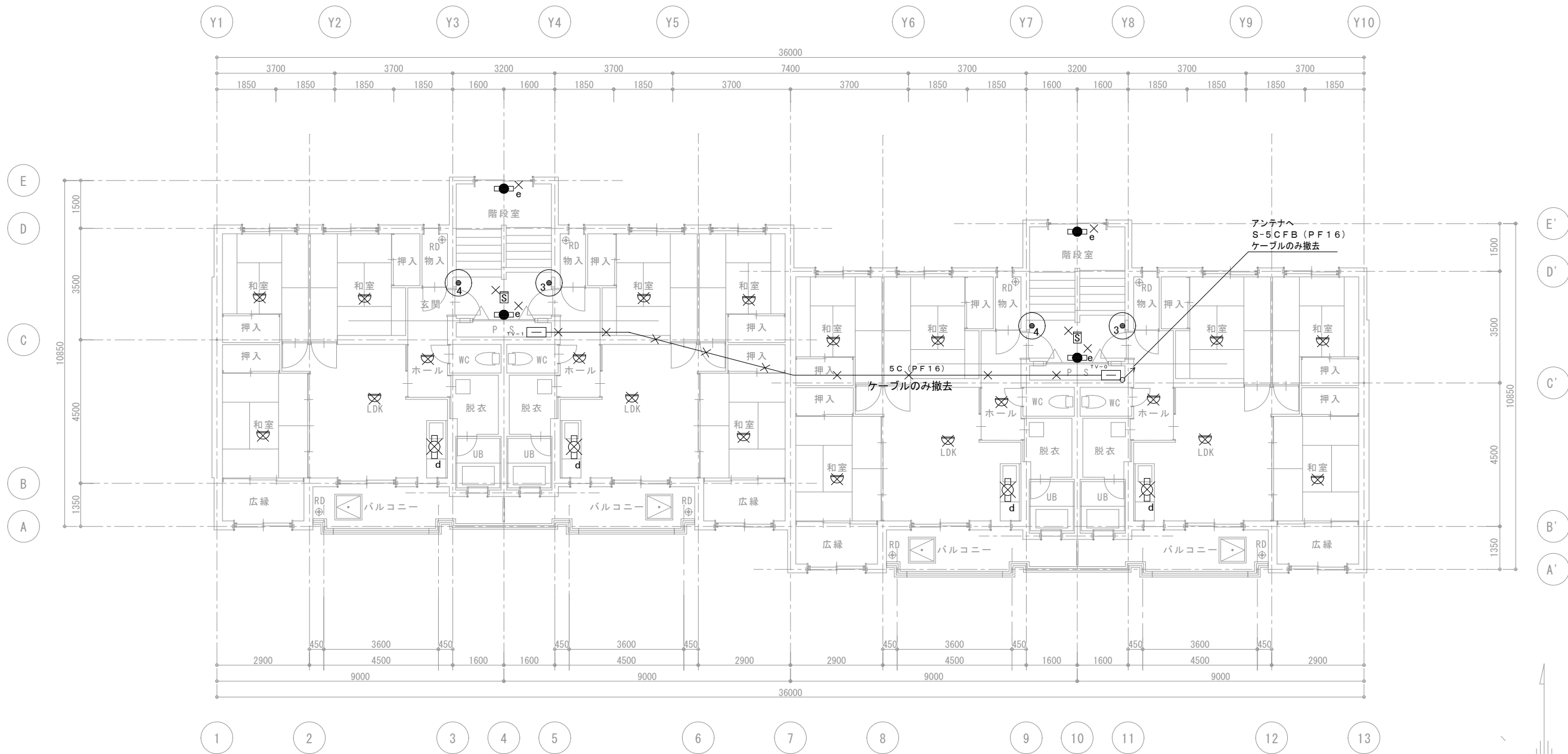
工事区分表（他工事との取合い等）		項 目				A		E		M		EV		備 考		項 目		A		E		M		EV		備 考		項 目		A		E		M		EV		備 考	
躯体関係														仕上げ関係														11. その他 （続き）	排煙口等の天井仕上材の取付け		○				排煙口はM				
1. RC造 （梁・壁・床）の 貫 通 孔 開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け					○	○	○	○			1. 軽量鉄骨 天井下地 ・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強					○						消火器ボックス設置工事					○										
	補強を要する型枠材及び取付け					○							補強を要しないボードの切り込み						○	○				誘導標識（誘導灯を除く）					○										
	補強を要しない型枠材及び取付け					○	○	○	○				開口部の墨出し						○	○				煙突底部排水目皿・排水管					○										
	貫通孔・開口部の墨出し					○	○	○	○														くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部 床排水金物（目皿共）・排水管						○										
	貫通孔・開口部の補強					○						2. 可動間仕切り	切込み及び補強					○						くつつ洗い流し部排水金物・排水管					○										
	スリーブ・型枠の穴埋め					○	○	○	○				位置ボックス					○						ルーフドレン					○										
2. S・SRC造の 梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強					○						3. つりボルト 及び インサート												雨水流入配管					○										
	使用されたスリーブの穴埋め					○	○	○	○				設備機器・器具・配管・配線・ダクト用						○	○				雨水利用設備集水管							○		電動遮断弁以降はM						
	予備スリーブの穴埋め					○	○	○	○														屋上緑化						○				屋上緑化用灌水装置 までの配管はM						
3. 設備機器 の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）					○						4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ					○						ポンプ及びポンプアップ配管								○							
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）						○	○					ウエザーカバー、ペントキャップ（シール共）							○																			
	屋外・屋上の基礎					○							換気扇（取付枠共）							○					屋外排水設備・外構														
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの							○	○				サッシパネル開口					○																					
	機器取付け用アンカー・架台							○	○																														
	屋内受水タンク用の基礎					○						5. 湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台					○						マンホール上の化粧上ふたの表面仕上げ					○						公共下水道が分流式 の場合				
太陽電池アレイ用架台（支持金物）					○	○				AとEの区分は図示	フード（標準詳細図のもの、シール共）					○					その他はM	雨水公設樹					○												
ミニキッチン（照明、水栓含む）					○																																		
4. 昇降機関連	機械室・昇降路の躯体					○						6. 浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット							○					屋外雑排水及び屋外汚水排水設備								○						
	機械室の床開口					○							既製浴槽（ふたを含む）							○					樹及び樹ふた								○						
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上					○							浴室及び便所の床排水金物							○					ハンドホールの化粧用鉄ふたの表面仕上げ					○									
	機械室・昇降路内換気設備								○																マンホールの化粧用鉄ふたの表面仕上げ					○									
	巻上機周囲のチェッカープレート敷									○															排水公設樹								○		公共下水道が合流式 の場合				
	昇降路内ビット防水・集水樹					○						7. 便所まわり	洗面カウンター					○					洗面器はM	タンク室の躯体					○										
	点検用タラップ									○			鏡（規格寸法のみ）							○				規格外はA	樹及び客土					○									
	各階出入口穴あけ・同補強					○							衛生器具ユニット							○																			
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修									○			手すり、背もたれ					○					衛生器具ユニットの 場合はM																
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材					○							8. 事務室まわり												タンク室の砂充てん								○						
	出入口扉・三方枠及び幕板									○		ファンコイルカバー					○						上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等								○								
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨					○						家具組み込みの洗面器							○			切り込みはA																	
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、 他昇降路内の鋼製部材一式									○														タンク室の砂充てん								○	○						
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けベース					○						9. フリーアクセスフロア		コンセント							○					上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等							○	○					
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）					○							床パネルの切り込み加工					○							配管トレンチ及び蓋					○									
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口					○																																	
	5. その他	点検用コンセント・煙感知器								○			10. 自動扉 電動シャッター まわり	防火戸の自動開閉装置							○				駐車場ガソリントラップ（RC造）					○									
EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、 非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事								○			上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置					○						屋外キュービクルフェンス（扉・錠共）					○												
EV制御盤からエレベーター内監視カメラ及びインターホン までの配管・配線工事									○		排煙窓本体・自動開閉装置					○																							
監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの 配管・配線工事								○			防煙たれ壁本体・駆動装置					○																							
EV警報盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の 配管工事								○			上部電動シャッター、排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器					○						電気配線配管																	
EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管・配線工事								○			自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）					○						機器附属の制御盤以降の2次側配管配線（接地線共）								○	○								
EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及び インターホンの配管・配線工事										○	自動扉の手元電源スイッチ							○				機器附属の制御盤への1次側電源供給配管配線（接地線共）					○												
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事									○		電気錠の本体、扉内配線					○						自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線（接地線共）					○												
トラフ・ピット類（湧水・汚水）・RC造各種水槽					○						電気錠の扉までの配管及び配線							○				機器と附属操作スイッチの渡り配管配線								○	○								
同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等					○						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強 及びドアクローザー、フロアヒンジ					○						煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線					○												
雷保護設備・同接地工事								○			自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への 配管・配線工事					○						全熱交換ユニットから連動する電動ダンパーへの電源供給配管配線					○												
ALC板の壁開口・補強					○						自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線							○				注油口内アース端子よりのアース用配管配線							○	○									
厨房排水溝					○						11. その他	2重ビット及びびトレンチのマンホールふた					○						ACP屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線								○								
厨房グリース阻集器								○				機器搬入用フック、ビーム					○					EV用フック含む	ACPマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線							○									
オイルサーピスタンの防油堤					○							チェーンブロック							○	○				機器・電極棒用の電源配管配線							○			電極棒はM					
フリーアクセスフロア内の防水堤					○							化粧マンホール上ふたの表面仕上げ					○						屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置の電源、 信号線の配管・配線							○									
既設埋設配管配線調査（×線探査含む）					○	○	○					点検口（天井・床下）					○																						
凡 例	A：建築工事 E：電気設備工事 M：機械設備工事 EV：エレベーター設備工事 ※区分は○印のついたものを適用する。 ※複数に○印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施するものとする。					この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった 施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付 しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体の 工事内容を示すものではないことに留意すること。																																	





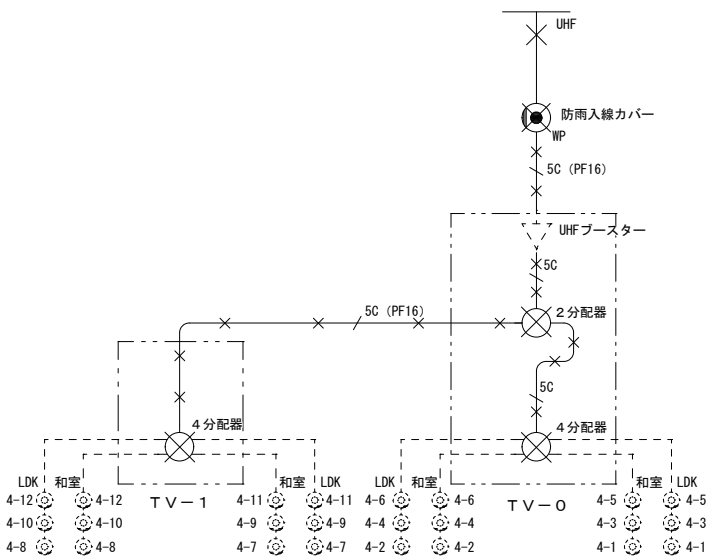






テレビ共同受信設備 系統図【改修前】

3階平面図（改修前） 1/100



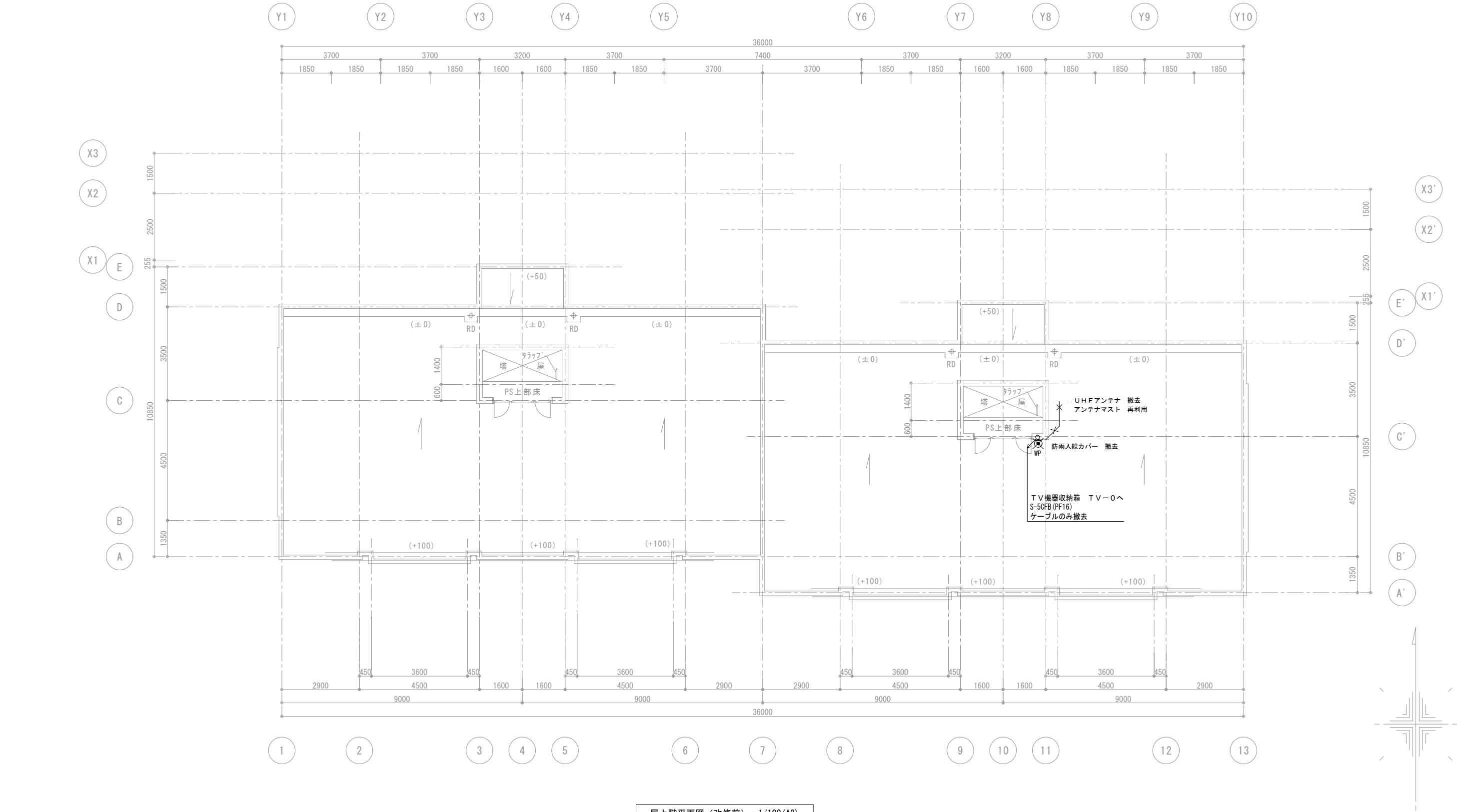
機器凡例（特記なき記号は下記による）

記号	規格・品名	備 考
d	FL20W×1 棚下灯 銅板製	
e	FL20W×2+白熱灯 壁付型 銅板製	
3	埋込スイッチ 3W15A×1 (WP付きは防水)	
4	埋込スイッチ 4W15A×1 (WP付きは防水)	
	既設 TV機器収納箱 (名称は図示)	
S	光電式スポット型感知器 2種	
	差動式スポット型感知器 2種 (遠隔試験機能付)	
× 印の機器は撤去・処分とする。		
○ 印のスイッチはプレートのみ撤去とする。		

配線凡例（特記なき記号は下記による）

記号	規格・品名	備 考
5C (PF16)	同軸ケーブル S-5CFB (PF16)	天井隠ぺい

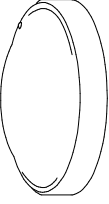
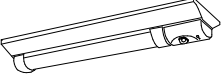
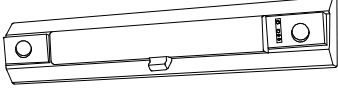
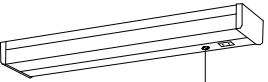
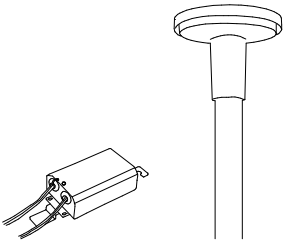
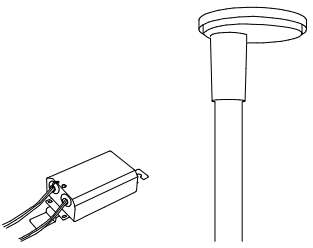




機器凡例（特記なき記号は下記による）

記号	規格・品名	備 考
⊥	UHFアンテナ AU-1	
⊙ WP	防雨入線カバー	
× 印の機器及び配線は撤去・処分とする。		

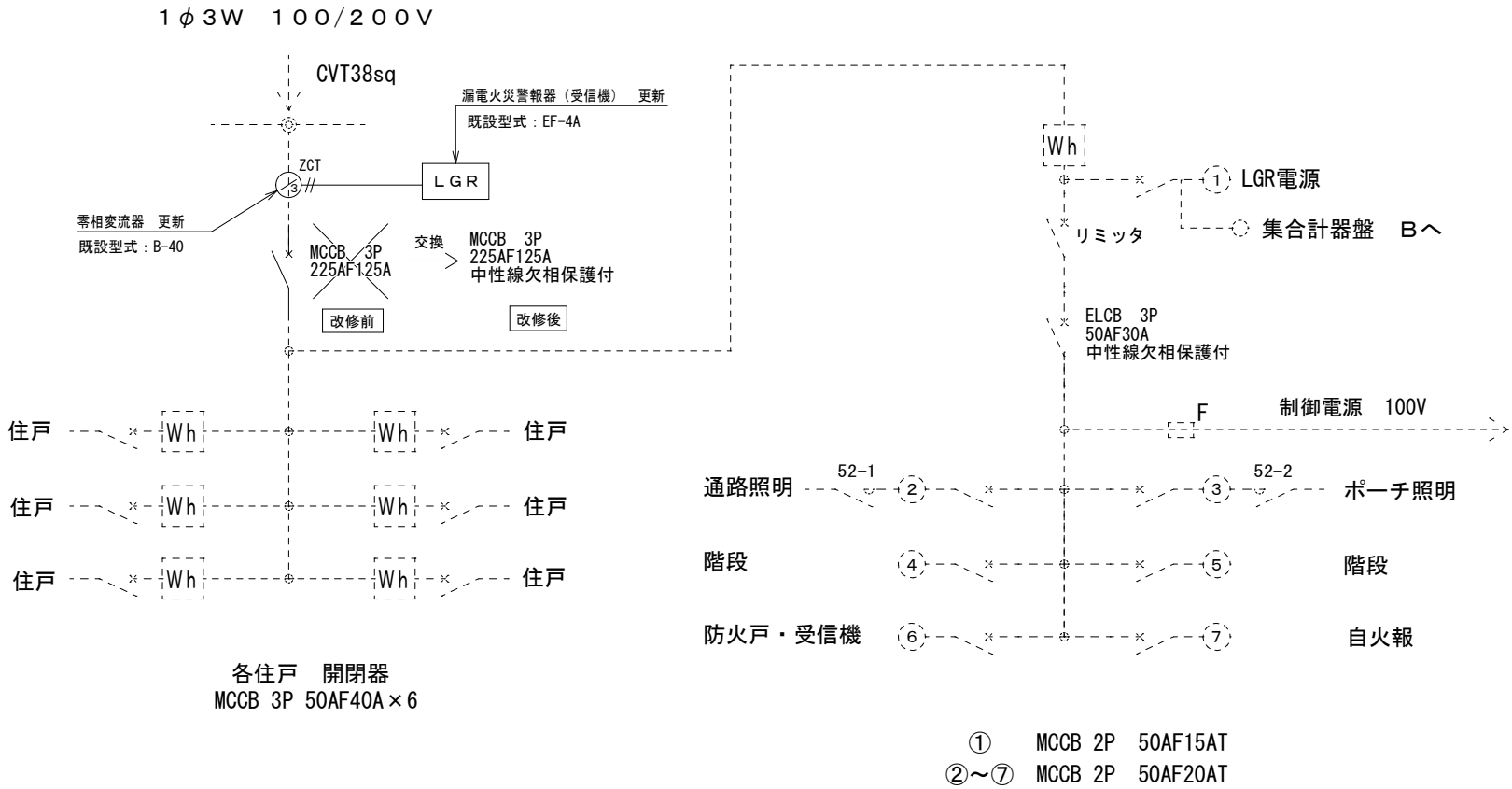
屋上階平面図（改修前） 1/100 (A2)

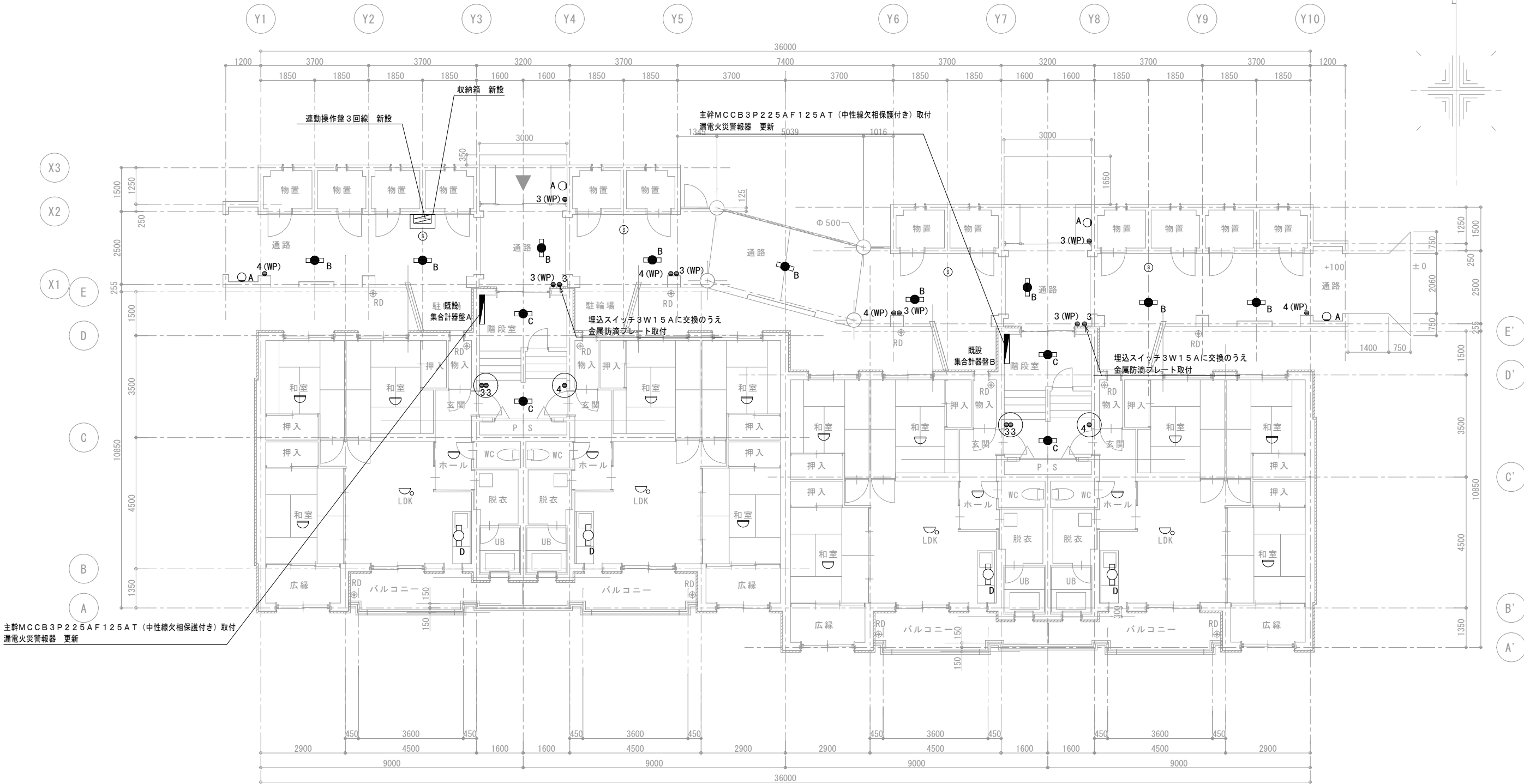
<div><div><div></div></div><div>A</div></div> <div>LEDシーリングライト 30形丸形蛍光灯1灯器具相当</div>	<div><div><div></div></div><div>B</div></div> <div>非常灯兼用 防湿型・防雨型 20形 W230</div>
<div></div> <div>温白色（3500K）、Ra83 器具光束865lm、消費電力10.7W、電圧100V 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 プラスチック（オフブラック） カバー：アクリル（乳白）</div>	<div></div> <div>非常灯タイプ、1520lm（FL20形×2灯器具相当） 常時：非常用ライトバー点灯、非常時：非常灯本体組込LED（一般出力型）点灯 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池 非常灯評定番号：LALE-032、非常用LEDレンズ：ガラス 常用ライトバー・ポリカーボネート（乳白）+アクリルコーティング 光源寿命（階段灯専用ライトバー）40000時間、IP23防湿、点検スイッチ付 自己充電モナ（緑）付</div>
<div><div><div></div></div><div>C</div></div> <div>非常灯兼用階段灯（天井・壁直付兼用）</div>	<div><div><div></div></div><div>d</div></div> <div>LEDキッチンライト</div>
<div></div> <div>ひとセンサON/OFF30分、Hf16形器具1灯相当 非常時本体組込LED点灯、非常灯評定番号：LALE-015 本体：銅板（白色塗装）、レンズ：ガラス 常用光ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池 常用光ユニット：光源寿命40000時間（光束維持率85%） 自己点検機能付</div>	<div></div> <div>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付、プルスイッチ付 カバー：プラスチック（乳白）</div>
<div><div><div></div></div><div>A</div></div> <div>LED外灯 水銀灯250形器具相当 中心タイプ</div>	<div><div><div></div></div><div>B</div></div> <div>LED外灯 水銀灯250形器具相当 片寄せタイプ</div>
<div></div> <div>光束4185lm、消費電力50W、電圧100～242V 電球色、3000K、Ra80、光源寿命6万時間（光束維持率85%） 本体：アルミダイカスト（オフブラック） 天板：銅板（オフブラック）、グローブ：アクリル 電源ユニット別置 上方光束比0～5%以下、耐風速60m/s 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV</div>	<div></div> <div>光束4615lm、消費電力50W、電圧100～242V 電球色、3000K、Ra80、光源寿命6万時間（光束維持率85%） 本体：アルミダイカスト（オフブラック） 天板：銅板（オフブラック）、グローブ：アクリル 電源ユニット別置 上方光束比0～5%以下、耐風速60m/s 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV</div>

照明器具 参考姿図

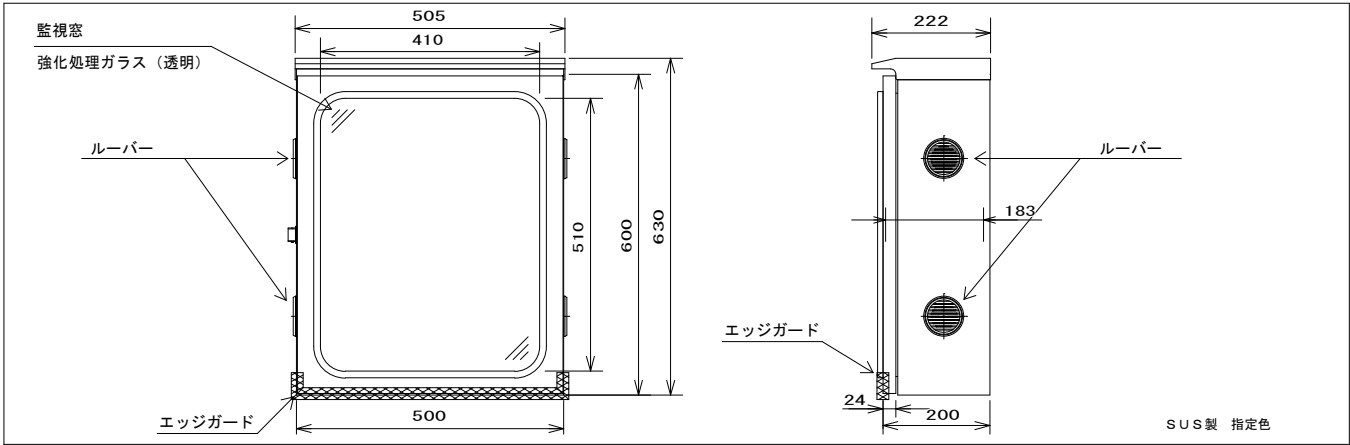
集合計器盤A 単線結線図

注記：主幹開閉器の交換及び漏電火災警報器の更新は  
集合計器盤Bも共通とする。





収納箱 参考姿図 1/10



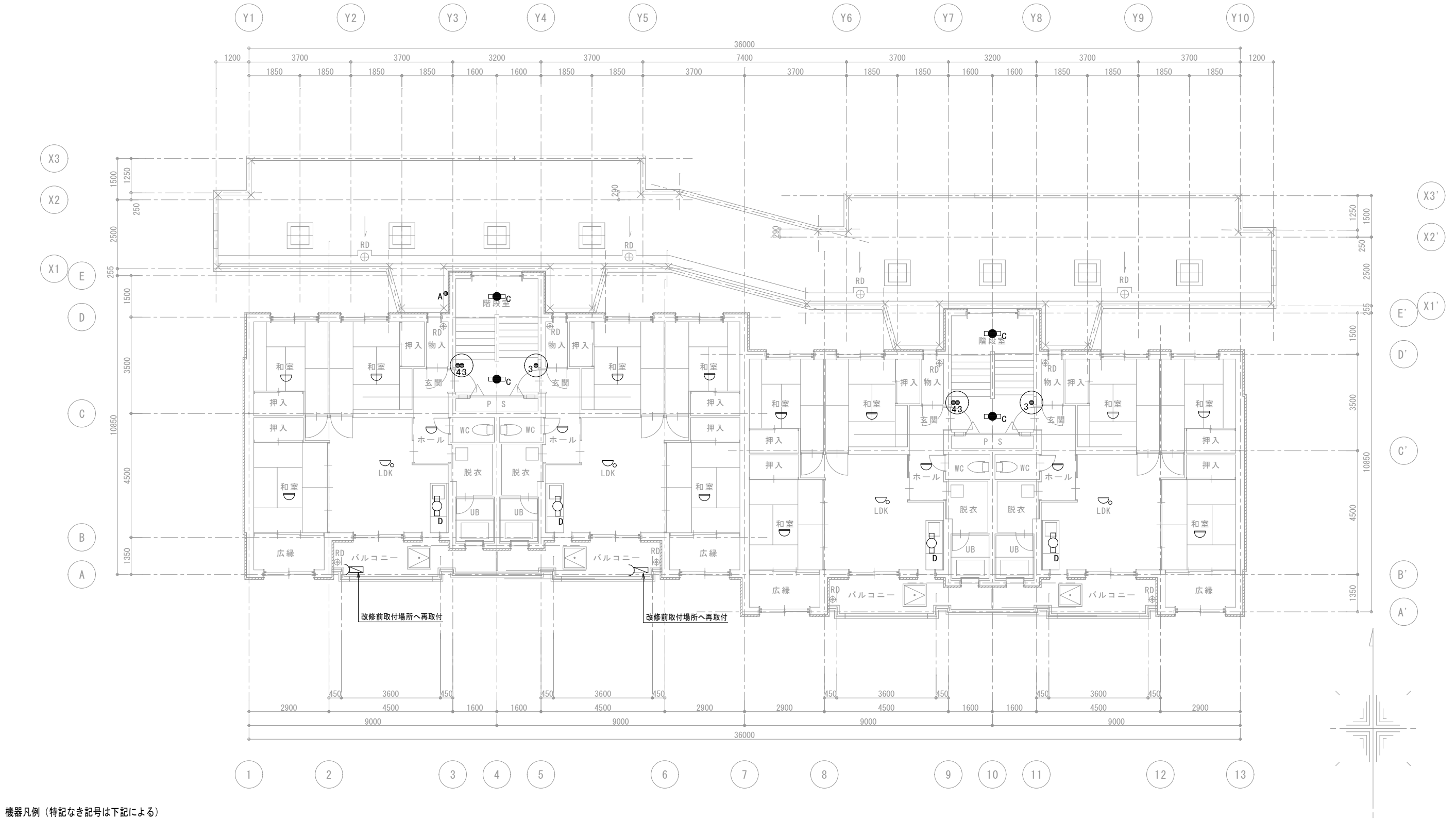
1 階平面図 (改修後) 1/100



機器凡例 (特記なき記号は下記による)

記号	規格・品名	備 考
○A	LED照明 防雨・防湿 ブラケット (E-08 照明器具参考姿図 参照)	
●B	非常灯兼用LED照明 防雨・防湿 (E-08 照明器具参考姿図 参照)	
●C	非常灯兼用LED照明器具 (E-08 照明器具参考姿図 参照)	
□D	LEDキッチンライト (E-08 照明器具参考姿図 参照)	
●3	埋込スイッチ 3W15A×1 (WP付きは防水)	
●4	埋込スイッチ 4W15A×1 (WP付きは防水)	
Ⓢ	光電式スポット感知器 3種 露出型	
∪	差動式スポット型感知器 2種 (遠隔試験機能付) 露出型	
∪○	定温式スポット型感知器 特種 (遠隔試験機能付) 露出型	
○ 印のスイッチは金属防滴プレートのみ取付。		





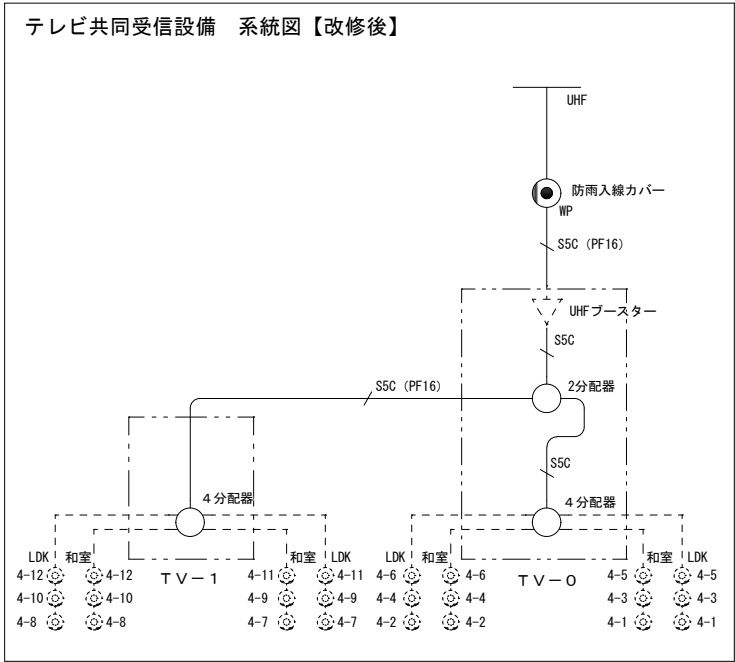
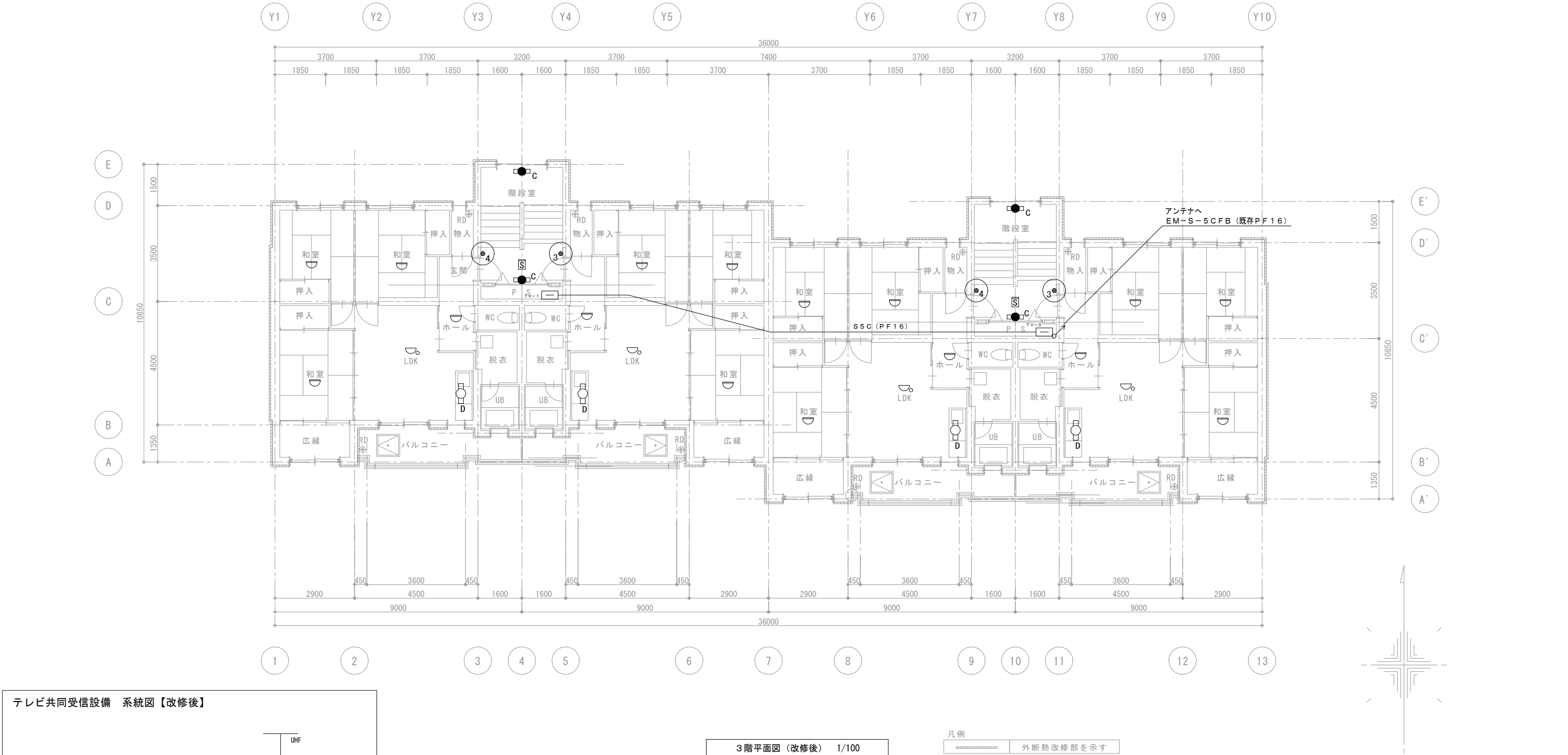
機器凡例（特記なき記号は下記による）

記号	規格・品名	備 考
	非常灯兼用LED照明器具（E-08 照明器具参考図 参照）	
	LEDキッチンライト（E-08 照明器具参考図 参照）	
	自動点滅器（点灯照度調整形） 3A	
	埋込スイッチ 3W15A x 1（WP付きは防水）	
	埋込スイッチ 4W15A x 1（WP付きは防水）	
	BSアンテナ	
	差動式スポット型感知器 2種（遠隔試験機能付） 露出型	
	定温式スポット型感知器 特種（遠隔試験機能付） 露出型	
○ 印のスイッチは金属防滴プレートのみ取付。		
BSアンテナ再取付は同軸ケーブル S-5CFB（F型接栓2個 含む）5m程度の撤去を含む。		






2 階平面図（改修後） 1/100

凡例


外断熱改修部を示す

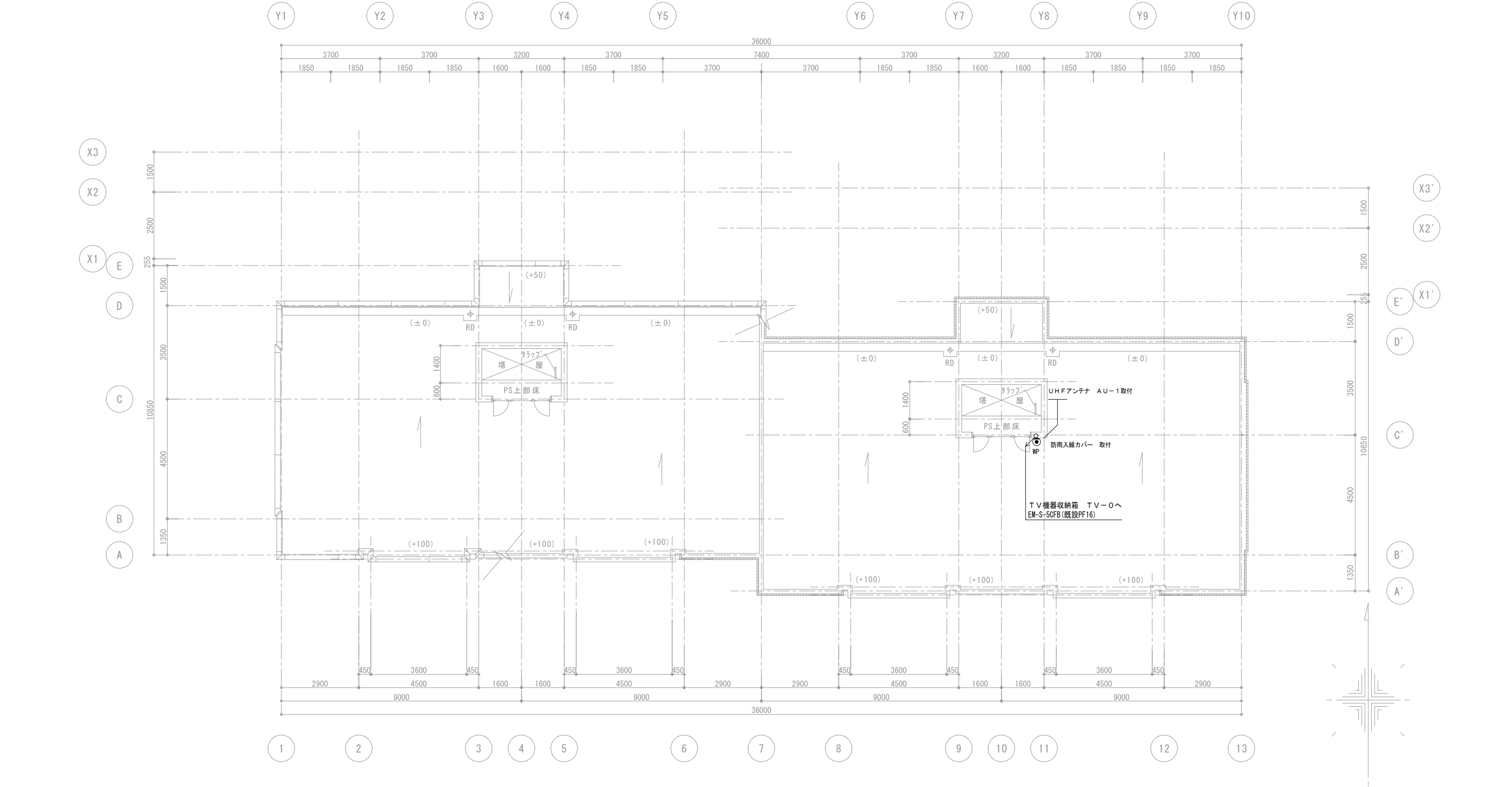


機器凡例 (特記なき記号は下記による)

記号	規格・品名	備 考
 C	非常灯兼用LED照明器具 (E-08 照明器具参考図 参照)	
 D	LEDキッチンライト (E-08 照明器具参考図 参照)	
 3	埋込スイッチ 3W15A x 1 (WP付きは防水)	
 4	埋込スイッチ 4W15A x 1 (WP付きは防水)	
	既設 TV機器収納箱 (名称は図示)	
 S	光電式スポット型感知器 2種 露出型	
	差動式スポット型感知器 2種 (遠隔試験機能付) 露出型	
	定温式スポット型感知器 特種 (遠隔試験機能付) 露出型	
○ 印のスイッチは金属防滴プレートのみ取付。		
BSアンテナ再取付は同軸ケーブル S-5CFB (F型接栓2個 含む) 5m程度の撤去を含む。		

配線凡例 (特記なき記号は下記による)

記号	規格・品名	備 考
 SSC (PF16)	同軸ケーブル EM-S-5CFB (既設PF16)	天井隠ぺい



機器凡例（特記なき記号は下記による）

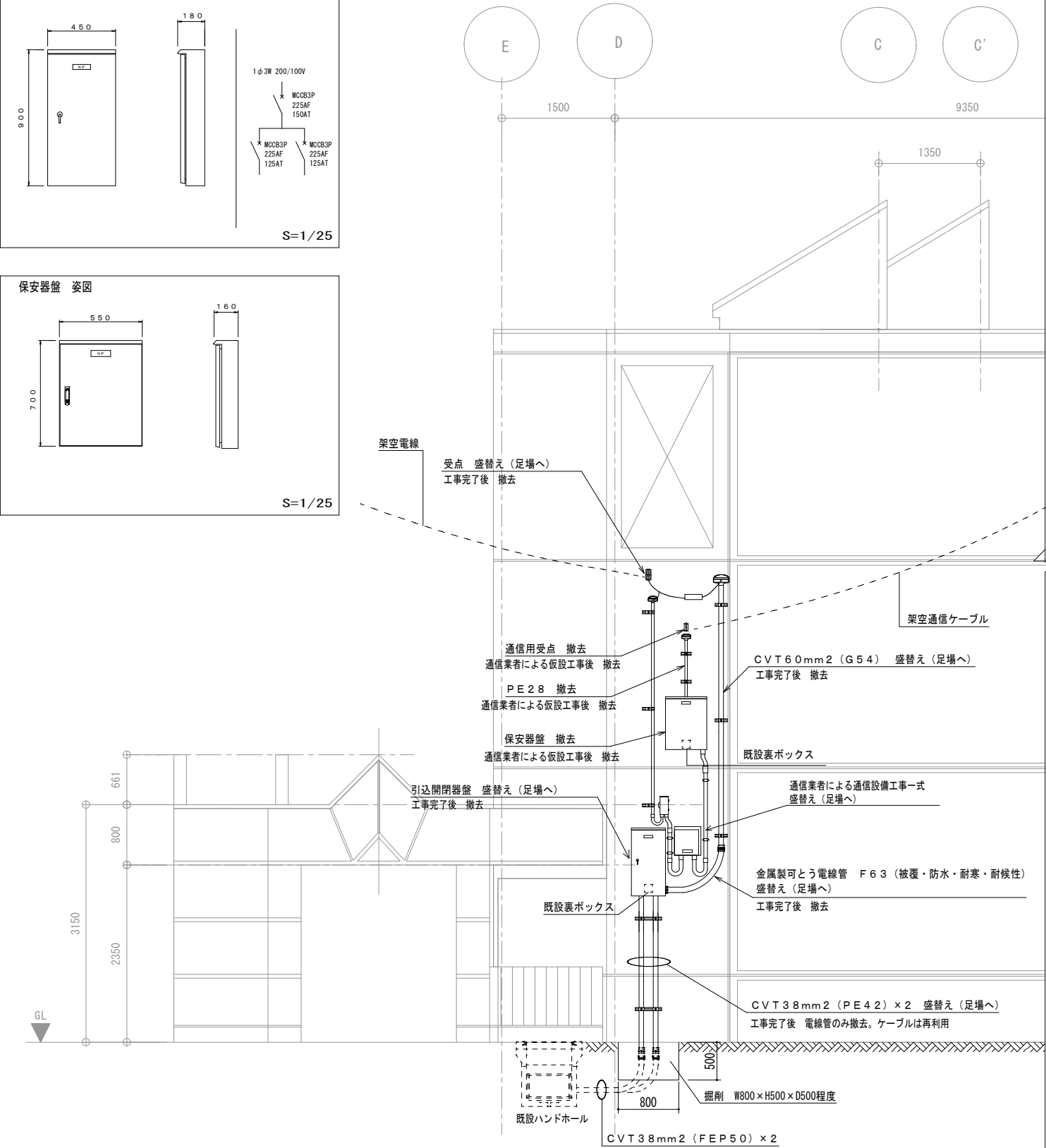
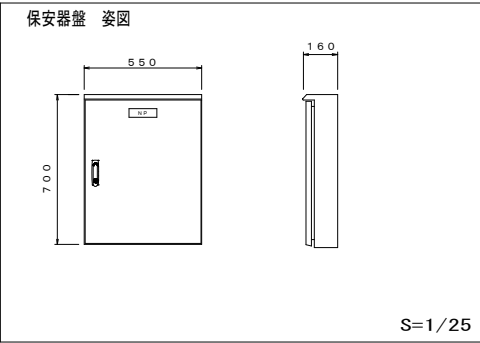
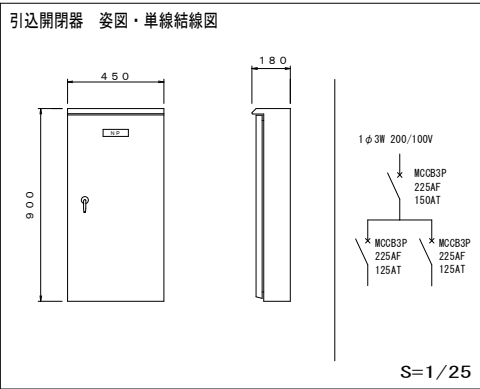
記号	規格・品名	備 考
	UHFアンテナ AU-1	
	新設 防雨入線カバー	

屋上階平面図（改修後） 1/100 (A2)

凡 例	
	外断熱改修部を示す

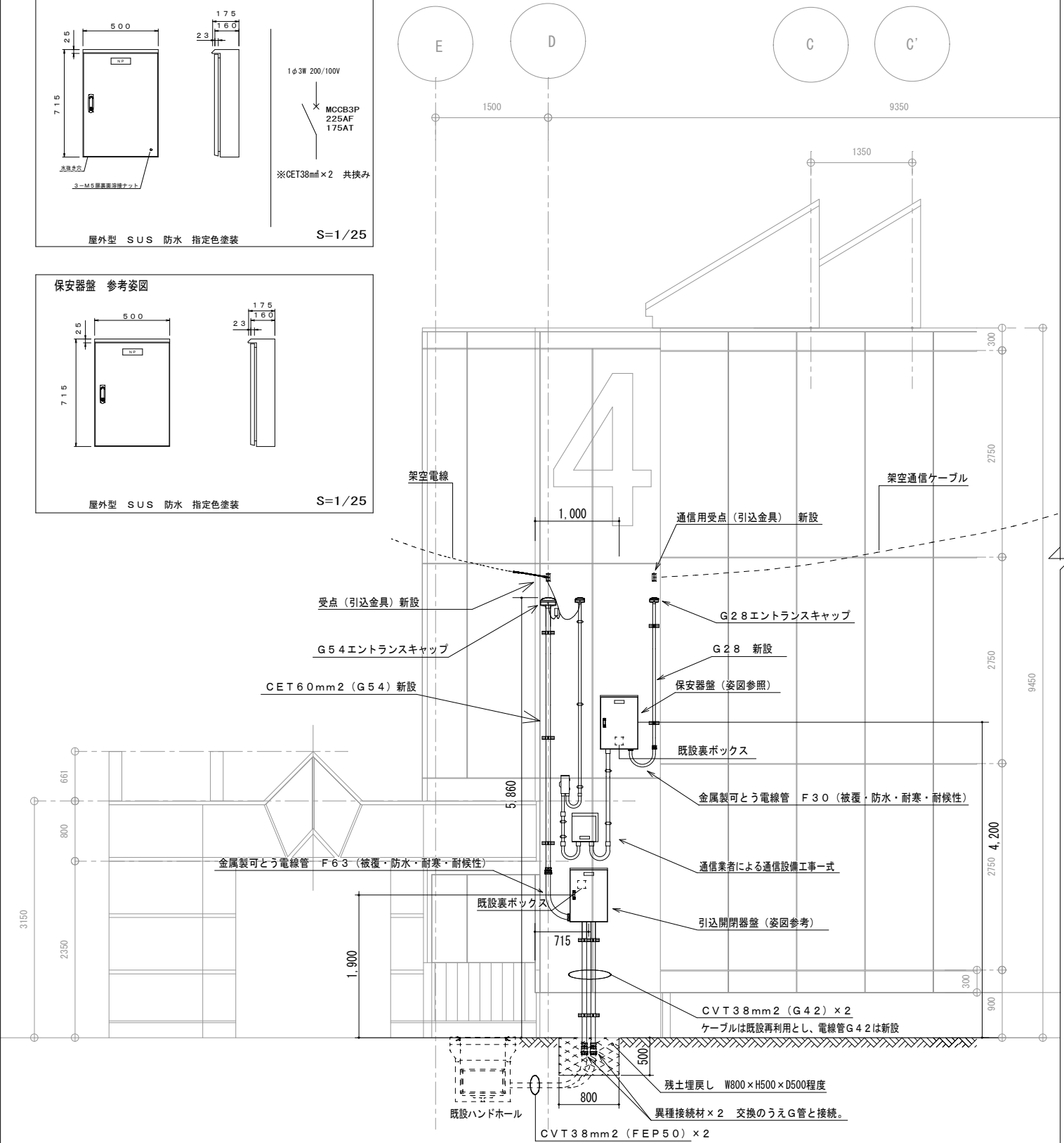
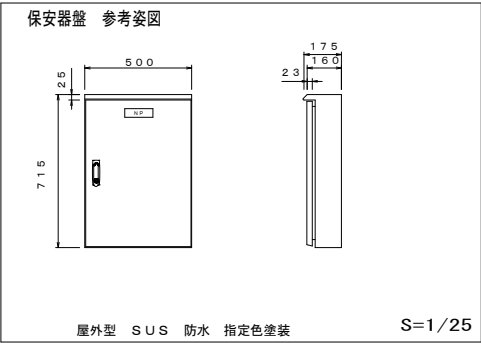
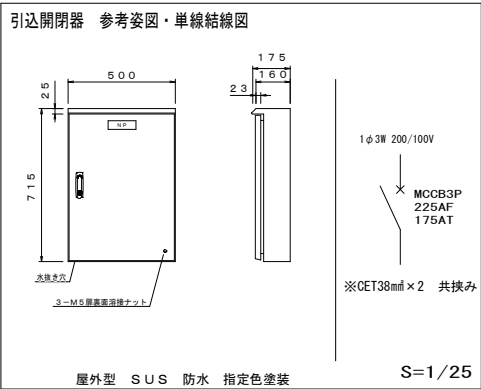


改 修 前



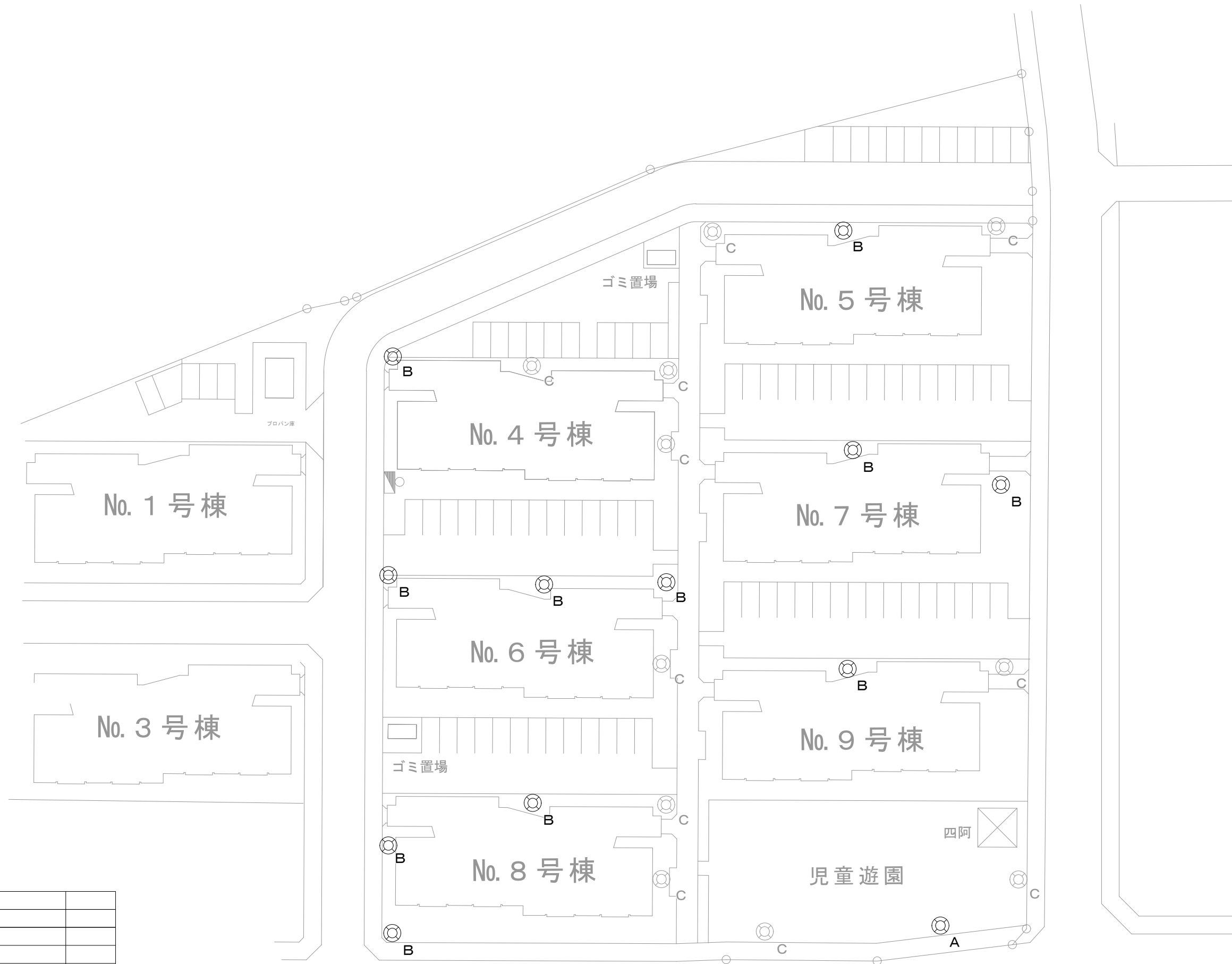
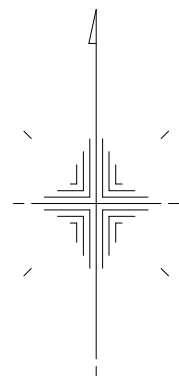
注記： ・架空電線および架空通信ケーブルが足場を潜る部分は  
防護を行う事。

改 修 後



注記： ・電話線・光ケーブルの入替・接続等は通信業者による施工とする。  
・停電及び電話等の不通が発生する場合は、発注者側と十分協議の上、入居者へ通知すること。  
・図中の厚鋼電線管（G）及び付属品は内外面溶融亜鉛めっきとする。

図中の寸法は参考とする。



機器凡例（特記なき記号は下記による）

記号	規格・品名	
⊙ <sub>A</sub>	LED外灯 水銀灯250形器具相当 中心タイプ	
⊙ <sub>B</sub>	LED外灯 水銀灯250形器具相当 片寄せタイプ	
⊙ <sub>C</sub>	既設LED外灯	
■	照明制御盤	
※既設水銀灯を撤去、灯具のみ交換とし、ポールは再利用とする。（外灯Cは対象外）		
※ポール内の既存開閉器を防水型漏電遮断器に更新する。（外灯Cは対象外）		

配置図 1/400




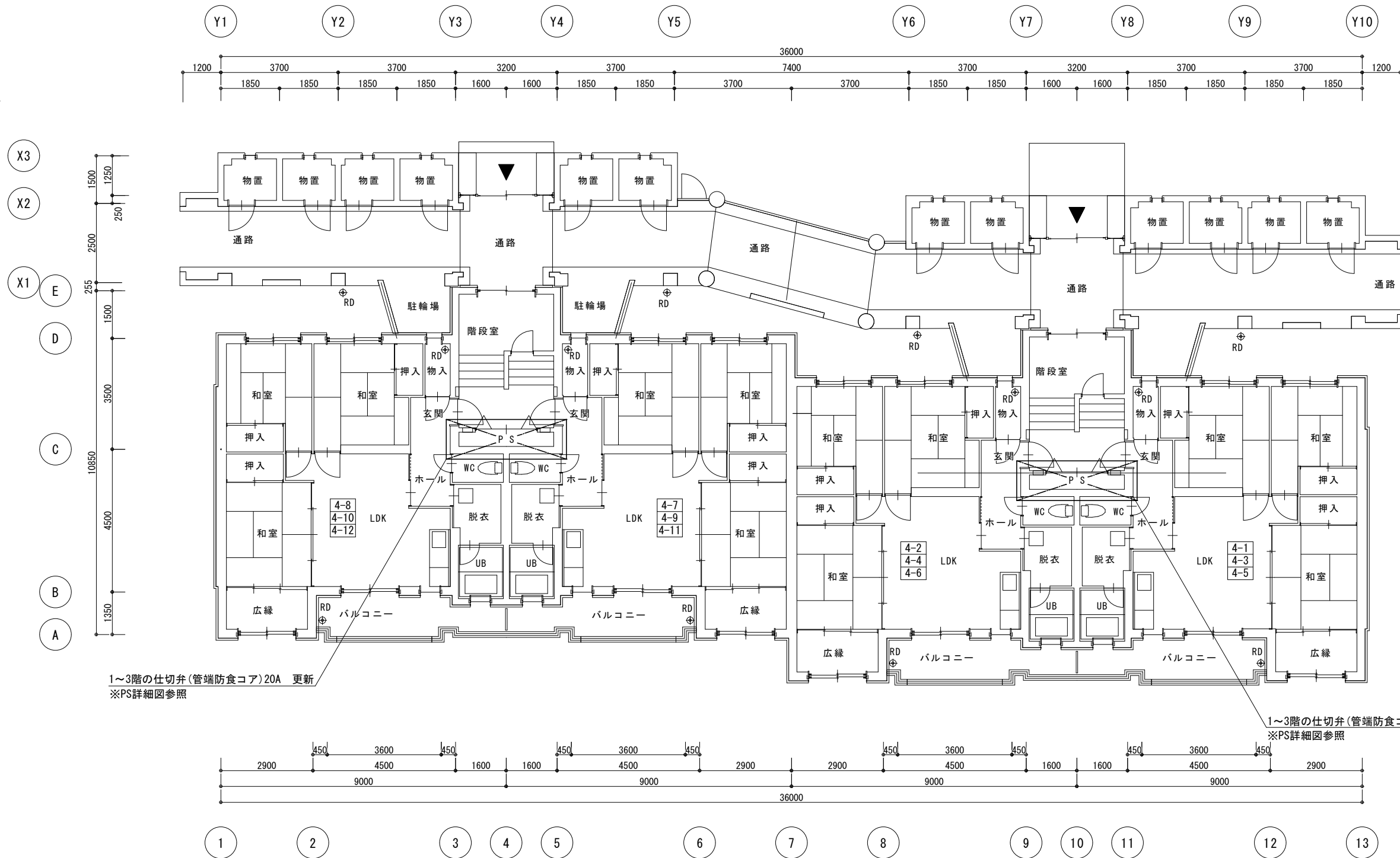
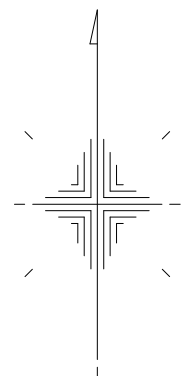
五所川原市役所  
建設部 建築住宅課

TITLE	DRAWING	SCALE	AMENDMENTS							CHECK	設計者	NO.
千鳥団地市営住宅（No.4号棟）長寿命化改修工事	外灯設備 改修平面図	1/400	処理日									E-14
			担当者									
			確定日									





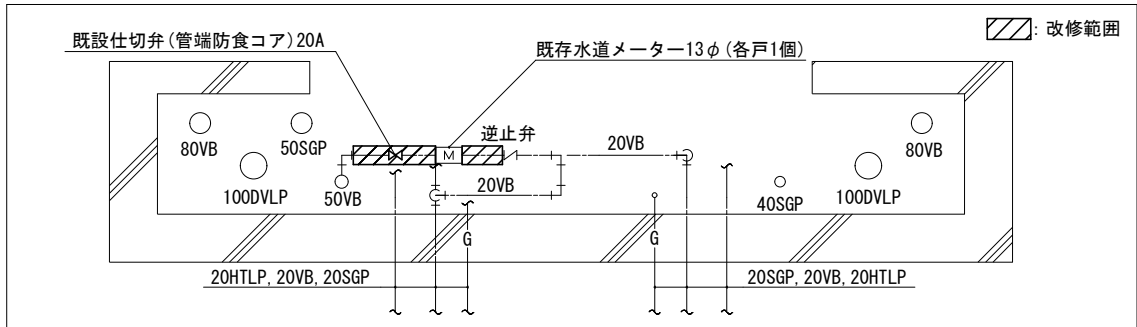
 五 所 川 原 市 役 所 建 設 部 建 築 住 宅 課	T I T L E	D R A W I N G	S C A L E	A M E N D M E N T S								C H E C K	設 計 者	N O .	
	千鳥団地市営住宅（No.4号棟）長寿命化改修工事	機械設備 特記仕様書（2）		処理日											M - 2
				担当者											
				確定日											



1～3階の仕切弁(管端防食コア)20A 更新  
※PS詳細図参照

1～3階の仕切弁(管端防食コア)20A 更新  
※PS詳細図参照

1 階平面図 S=1/100



P S 詳細図 S=1/20

○改修内容

PS内給水仕切弁(管端防食コア)20A更新(保温共)	11個(6号室除く)
----------------------------	------------

○仕切弁、逆止弁廻り保温仕様

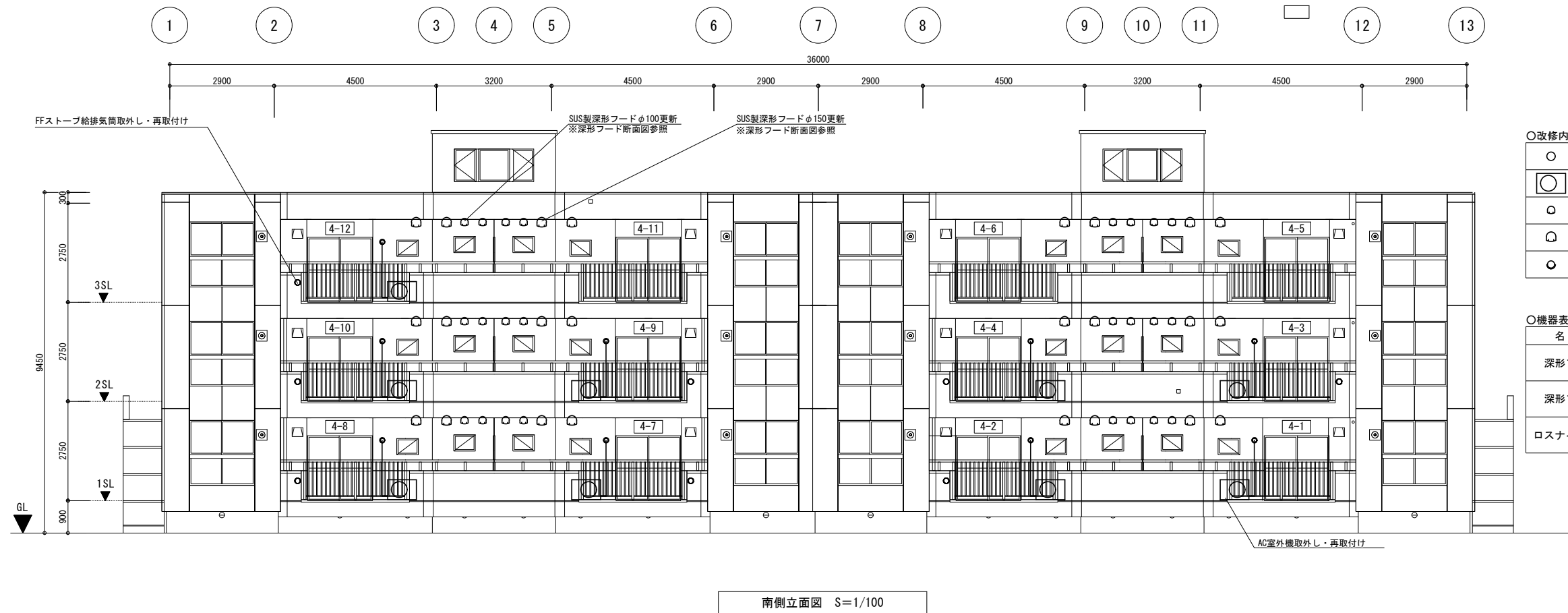
屋内隠蔽：c・(ウ)・Ⅶ アルミガラスクロス化粧(P)保温筒t=20+アルミガラスクロス粘着テープ
※(P)ポリスチレンフォーム

※既存水道メーターを取外す際は水道課と協議すること



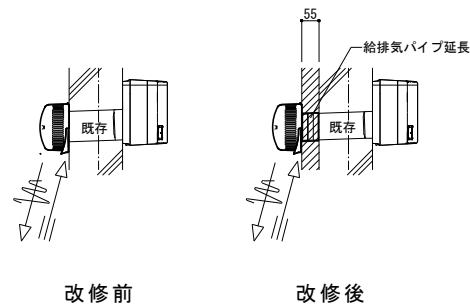
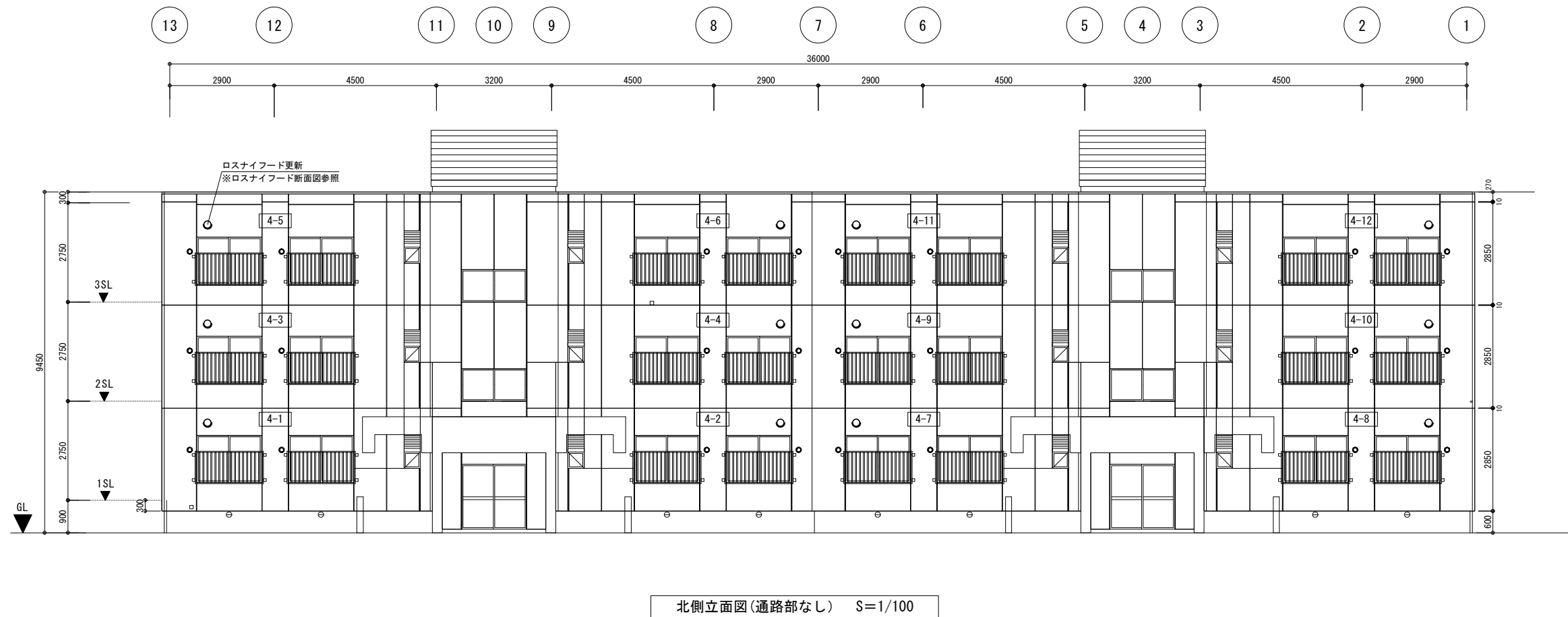
五所川原市役所  
建設部 建築住宅課

TITLE	DRAWING	SCALE	AMENDMENTS	CHECK	設計者	NO.
千鳥団地市営住宅(№4号棟)長寿命化改修工事	機械設備 1階平面図	1/100・1/20	処理日 担当者 確定日			M-3

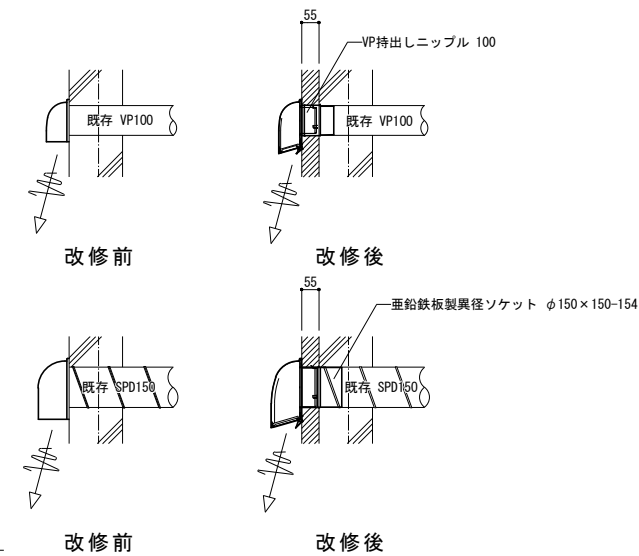


○改修内容		
○	FFストーブ給排気筒取外し・再取付け	8箇所
○	エアコン室外機取外し再取付け (1.8kW相当)	9箇所
○	SUS製深形フードφ100更新	8個 × 3階 = 24個
○	SUS製深形フードφ150更新	8個 × 3階 = 24個
○	ロスナイフード更新	4個 × 3階 = 12個

○機器表			標準色
名 称	仕 様 ・ 規 格 ・ 型 式 (参考品番)	備 考	
深形フード	100φ、SUS製、ガラリ・防虫網付 (5M) AT-100FWS5 相当品	持出しニッブルダクト継手 VP100 共	
深形フード	150φ、SUS製、ガラリ・防虫網付 (給気10M、排気5M) AT-150FWS5 相当品	垂鉛鉄板製異形ソケットダクト継手 φ150×150-154 共	
ロスナイフード	100φ、丸形SUS製、防虫網付 (10M) P-50CVSQ6	延長パイプ (P-50P) パイプ延長用継手 (P-50PJ) 共	



ロスナイフード断面図 S=1/20



深形フード断面図 S=1/20



五所川原市役所  
建設部 建築住宅課

TITLE	DRAWING	SCALE	AMENDMENTS	CHECK	設計者	NO.
千鳥団地市営住宅 (No.4号棟) 長寿命化改修工事	機械設備 立面図	1/100・1/20	処理日 担当者 確定日			M-4